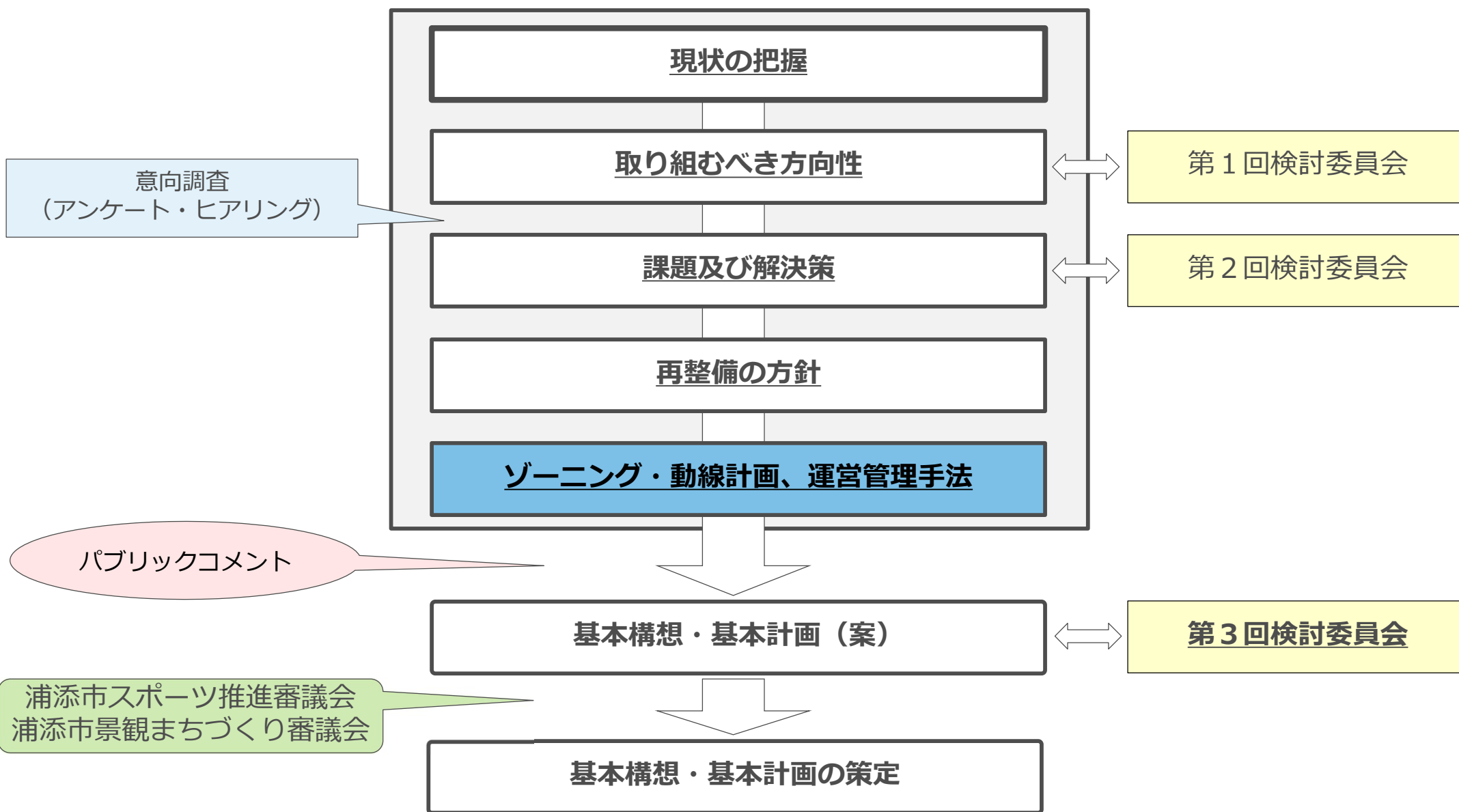


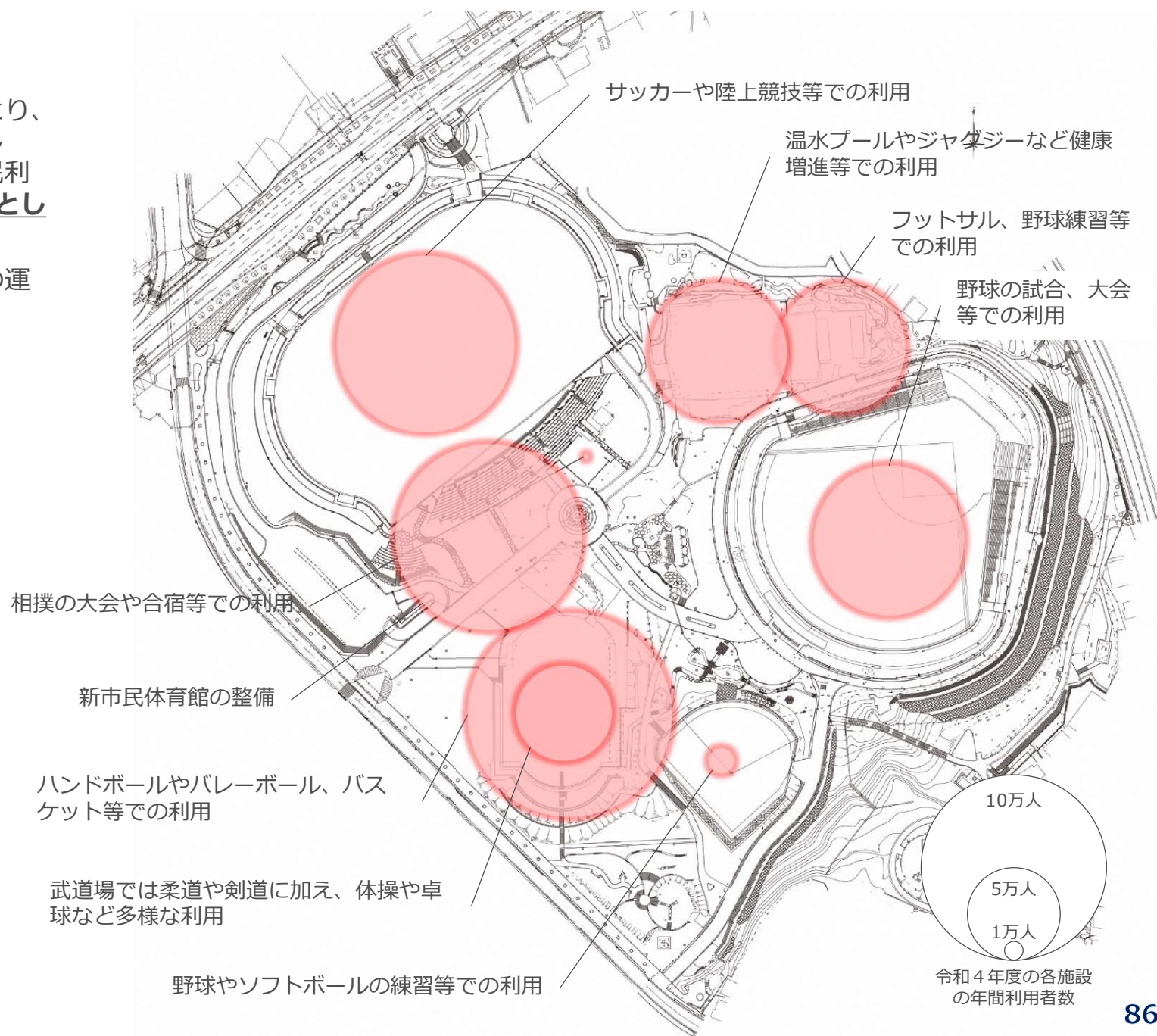
- ・公園内をゾーン分けし、全体の将来像と再整備の方針に基づき、ゾーン別及び施設別の方針を示します。
- ・運動公園の今後の運営管理手法についての方針を示します。



① するスポーツの利用状況

(運動施設)

- 利用者・未利用者アンケート調査結果より、浦添市民利用者では「運動試合に参加した」の利用が最も多く、周辺市町村住民利用者でも3番目に多く、**運動施設を中心とした利用**がなされています。
- 野球で利用される市民球場を除き、他の運動施設は**多目的に利用**されています。



② するスポーツの利用状況

(園路、オープンスペース等)

- ・ 利用者・未利用者アンケート調査結果より、「運動試合に参加した」以外では、「散歩」や「催し物に参加」「子どもと遊んだ」の利用が多いです。
- ・ 散歩などの利用は陸上競技場内のトラック周辺や園路が利用されています。また、市民体育館や陸上競技場、オープンスペースを利用した催し物などが行われています。
- ・ オープンスペースで子どもと遊んだり休憩での利用が見られますが、場所によって利用が低い箇所があります。



散歩やジョギングでの利用

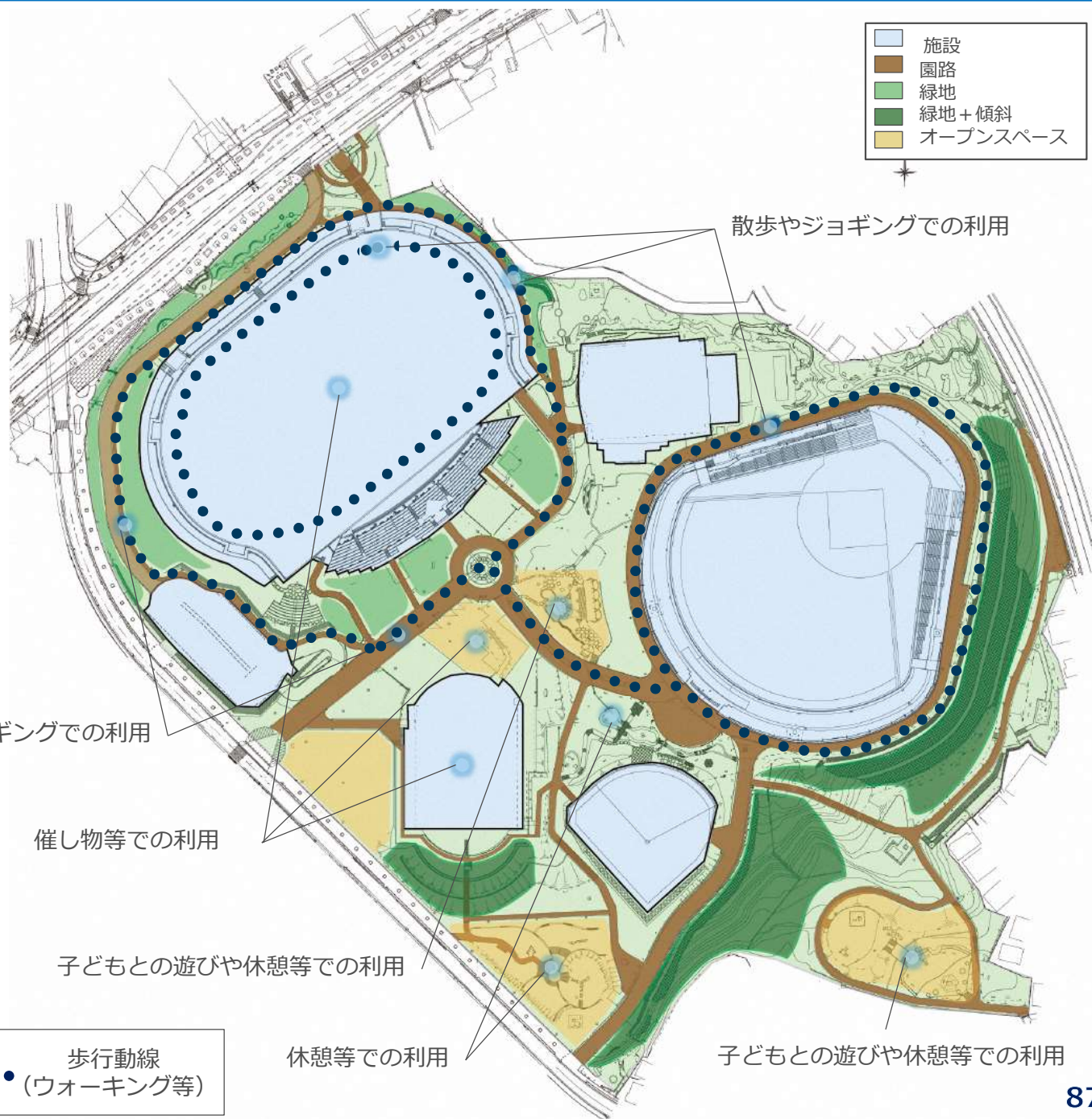
催し物等での利用

子どもとの遊びや休憩等での利用

休憩等での利用

子どもとの遊びや休憩等での利用

歩行動線
(ウォーキング等)



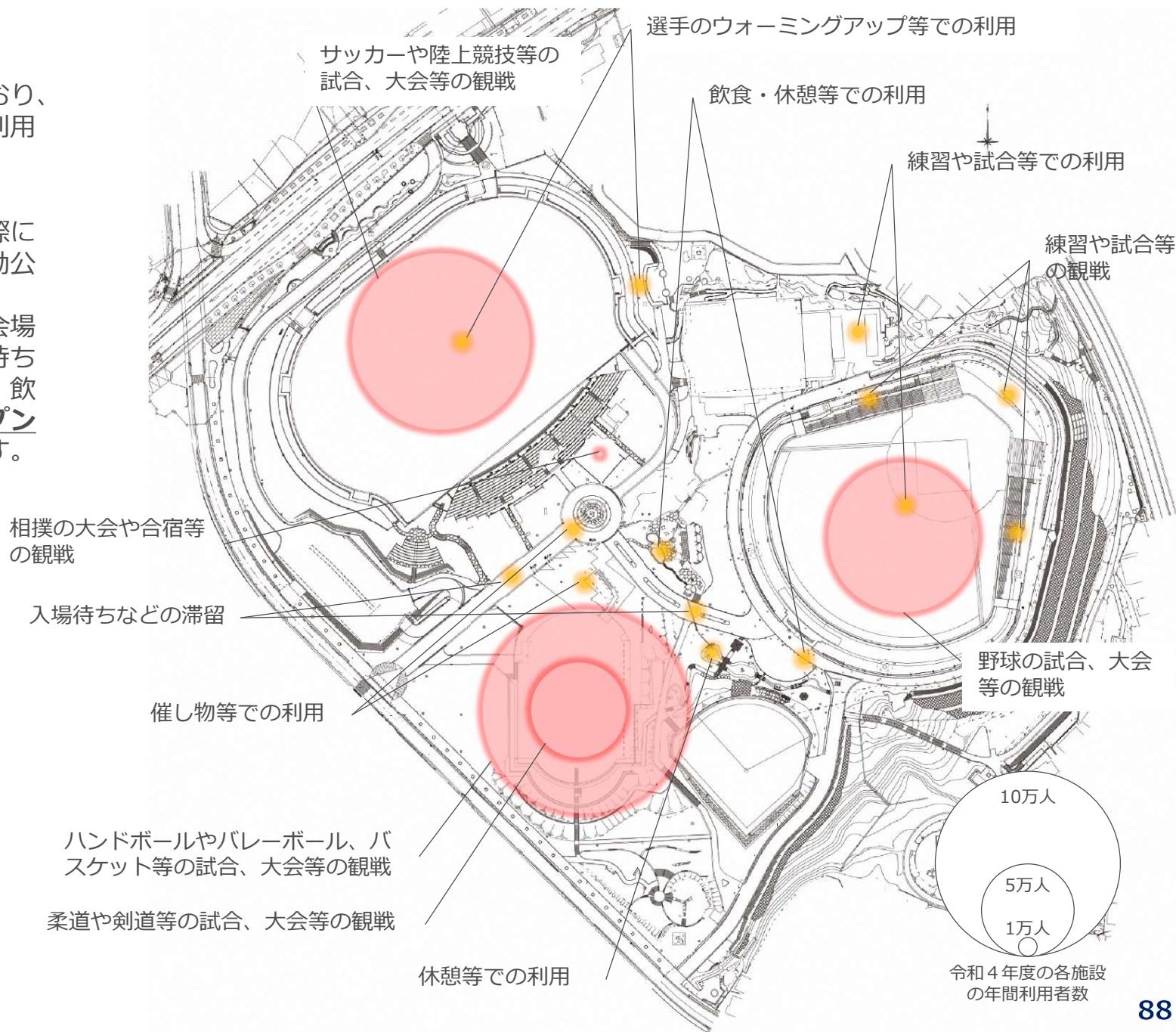
③ みるスポーツの利用状況

みるスポーツの利用状況（一般）

- 各運動施設で試合や大会が開催されており、家族の試合観戦などのみるスポーツの利用がされています。

みるスポーツの利用状況（観光）

- ヤクルトキャンプやてだこウォークの際には、県内外から多くの観光客が訪れ運動公園を利用しています。
- ヤクルトキャンプ時には、練習や試合会場となる市民球場以外に、園路での入場待ちの行列やオープンスペースでイベント、飲食などの利用があり、**運動施設とオープンスペース等が一体的に利用**されています。



④ 公園・施設利用者の需要予測

施設全体の利用者数（実績）の状況

- 令和3年度までコロナ禍の影響により施設全体の利用者数は約32万人まで減少。
- 令和4年度は、てだこまつりやヤクルトキャンプなどの開催により、令和3年度から約35万人増加の約67万人。
- 回復傾向にあるが、令和5年度からの新市民体育館の整備工事により、施設アプローチや立体駐車場の地下部分の利用に制限が出ることから利用者数の減少が想定される。

令和5年度以降の施設全体の利用者数の想定

- 令和5年8月から令和6年6月まで立体駐車場の地下部分の利用制限や施設アプローチの制限により、高齢者の利用や地域団体のイベント等の開催の減少が見込まれることから、期間中の利用者の減少を想定する。
- 新市民体育館の供用開始予定である令和8年度は、陸上競技場と立体駐車場（一部）、園路（一部）で利用制限があるものの、新市民体育館の利用者数分が増加することを想定する。なお、新市民体育館の想定利用者数は既存市民体育館の利用者数を設定する。
- 令和9年度は、陸上競技場の再整備等が完了予定であり、利用制限が解除される。

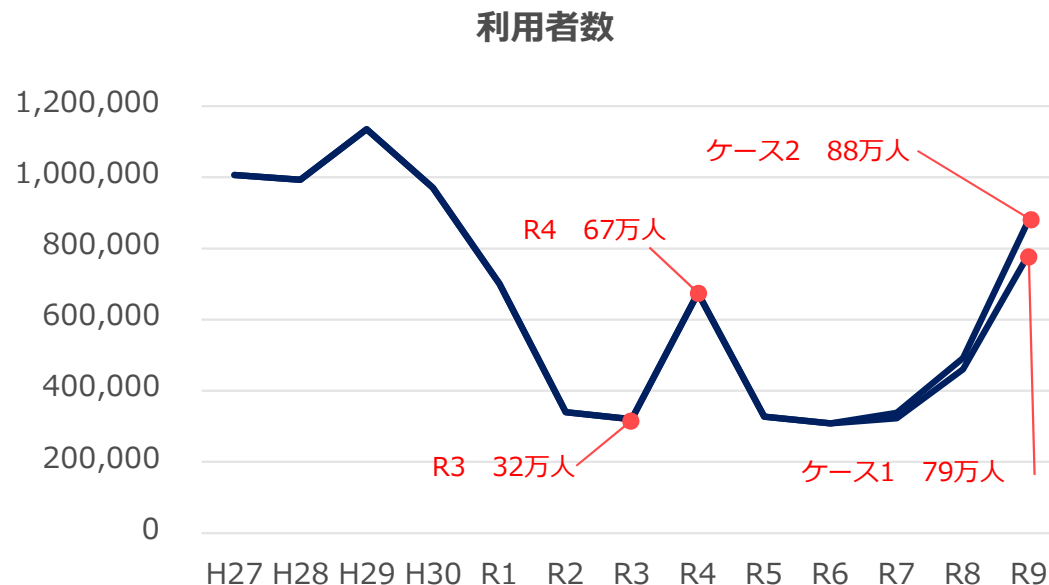
令和9年度の公園利用者需要

ケース1：令和4年度の利用者実績まで回復する需要予測

令和9年度の公園利用者：新市民体育館以外の施設利用者数（68万人）＋新市民体育館（11万人）＝79万人

ケース2：令和3年度から令和4年度（大規模イベントを除く）の利用者実績の伸び率を使った需要予測

令和9年度の公園利用者：新市民体育館以外の施設利用者数（75万人）＋新市民体育館（13万人）＝88万人



出典：浦添市資料より作成

④ 公園・施設利用者の需要予測

表 利用者数（ケース1）

施設名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R4(大規模イベント除)	R5	R6	R7	R8	R9	備考
市民体育館	172,199	168,547	165,868	192,068	151,142	73,294	72,938	109,612	109,612	95,000	104,000	106,000	108,000	110,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。
武道場	60,795	81,592	67,597	81,541	57,524	38,214	30,826	50,879	50,879	44,000	48,000	49,000	50,000	51,000	
まじゅんらんど	92,014	95,776	90,367	84,196	86,508	51,753	41,425	80,430	80,430	70,000	76,000	77,000	79,000	80,000	
屋内運動場	74,052	75,431	76,166	83,058	74,463	43,894	37,014	68,580	68,580	59,000	65,000	66,000	68,000	69,000	
屋外運動場	18,125	14,704	17,918	16,300	16,254	10,142	8,421	13,336	13,336	4,000	11,000	12,000	12,000	13,000	令和5年8月から令和6年5月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
市民球場	79,996	54,697	58,764	83,169	61,239	19,276	35,972	80,541	21,927	18,000	5,000	13,000	22,000	81,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。 令和6年3月から令和6年12月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。 令和7年1月以降は、夜間照明整備工事が終わり利用者の増加が見込まれる。
相撲場	3,621	3,349	3,697	3,356	3,027	1,566	2,943	2,760	2,760	1,000	0	0	13,000	3,000	令和5年8月から令和8年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
陸上競技場	505,595	498,804	655,517	427,085	250,618	101,331	90,954	268,160	109,411	36,000	0	0	0	268,000	令和5年8月から令和9年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
新市民体育館													108,000	110,000	令和8年度供用開始予定により利用者数の増加が見込まれる。
利用者数	1,006,397	992,900	1,135,894	970,773	700,775	339,470	320,493	674,298	456,935	327,000	309,000	323,000	460,000	785,000	【運動公園全体】アプローチの利用制限により、高齢者の利用が多いまじゅんらんどに至るアプローチ及び散歩、ジョギングなどで使用されている園路への影響が大きい。このため、公園及び施設の高齢者の利用が減少することが見込まれる。アンケート調査より市民の公園利用者で60歳代以上は27%であることから、アプローチの制限に2割程度の影響を受けると仮定する。
前年度比		0.99	1.14	0.85	0.72	0.48	0.94	2.10	1.43	0.48	0.94	1.05	1.42	1.71	

■ 一部期間利用不可：想定利用者数×利用できる月/12ヶ月

■ 利用不可

出典：浦添市資料より作成

④ 公園・施設利用者の需要予測

表 利用者数（ケース2）

施設名	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R4算定(大規模イベント除)	R5	R6	R7	R8	R9	備考
市民体育館	172,199	168,547	165,868	192,068	151,142	73,294	72,938	109,612	109,612	95,000	104,000	111,000	119,000	126,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。
武道場	60,795	81,592	67,597	81,541	57,524	38,214	30,826	50,879	50,879	44,000	48,000	45,000	47,000	59,000	
まじゅんらんど	92,014	95,776	90,367	84,196	86,508	51,753	41,425	80,430	80,430	70,000	76,000	81,000	87,000	92,000	
屋内運動場	74,052	75,431	76,166	83,058	74,463	43,894	37,014	68,580	68,580	59,000	65,000	74,000	79,000	79,000	
屋外運動場	18,125	14,704	17,918	16,300	16,254	10,142	8,421	13,336	13,336	4,000	11,000	12,000	14,000	15,000	令和5年8月から令和6年5月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
市民球場	79,996	54,697	58,764	83,169	61,239	19,276	35,972	80,541	21,927	18,000	5,000	15,000	25,000	85,000	施設利用できるが立体駐車場の地下部分の利用制限や施設までのアプローチの制限による影響を受ける。 令和6年3月から令和6年12月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。令和7年1月以降は、夜間照明整備工事が終わり利用者の増加が見込まれる。
相撲場	3,621	3,349	3,697	3,356	3,027	1,566	2,943	2,760	2,760	1,000	0	0	1,500	3,000	令和5年8月から令和8年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
陸上競技場	505,595	498,804	655,517	427,085	250,618	101,331	90,954	268,160	109,411	36,000	0	0	0	296,000	令和5年8月から令和9年3月までの期間は、施設利用不可により利用者数が見込めない。
新市民体育館													119,000	126,000	令和8年度供用開始予定により利用者数の増加が見込まれる。
利用者数	1,006,397	992,900	1,135,894	970,773	700,775	339,470	320,493	674,298	456,935	327,000	309,000	338,000	491,500	881,000	【運動公園全体】アプローチの利用制限により、高齢者の利用が多いまじゅんらんどに至るアプローチ及び散歩、ジョギングなどで使用されている園路への影響が大きい。このため、公園及び施設の高齢者の利用が減少することが見込まれる。アンケート調査より市民の公園利用者で60歳代以上は27%であることから、アプローチの制限に2割程度の影響を受けると仮定する。
前年度比		0.99	1.14	0.85	0.72	0.48	0.94	2.10	1.43	0.48	0.94	1.09	1.45	1.79	

■ 一部期間利用不可：想定利用者数×利用できる月/12ヶ月

■ 利用不可



令和4年度実績（大規模イベント除く）/令和3年度実績 = 伸び率 = 1.43

出典：浦添市資料より作成

令和4年度実績（大規模イベント除く）× 1.43 + 大規模イベント来場者数 = 令和9年度利用者予測数

・ 令和3年度利用者実績については、コロナ禍の制限により大規模イベントが開催されていないため、令和4年度利用者実績から大規模イベントの来場者数を除外して、同条件のもと伸び率を算出した。

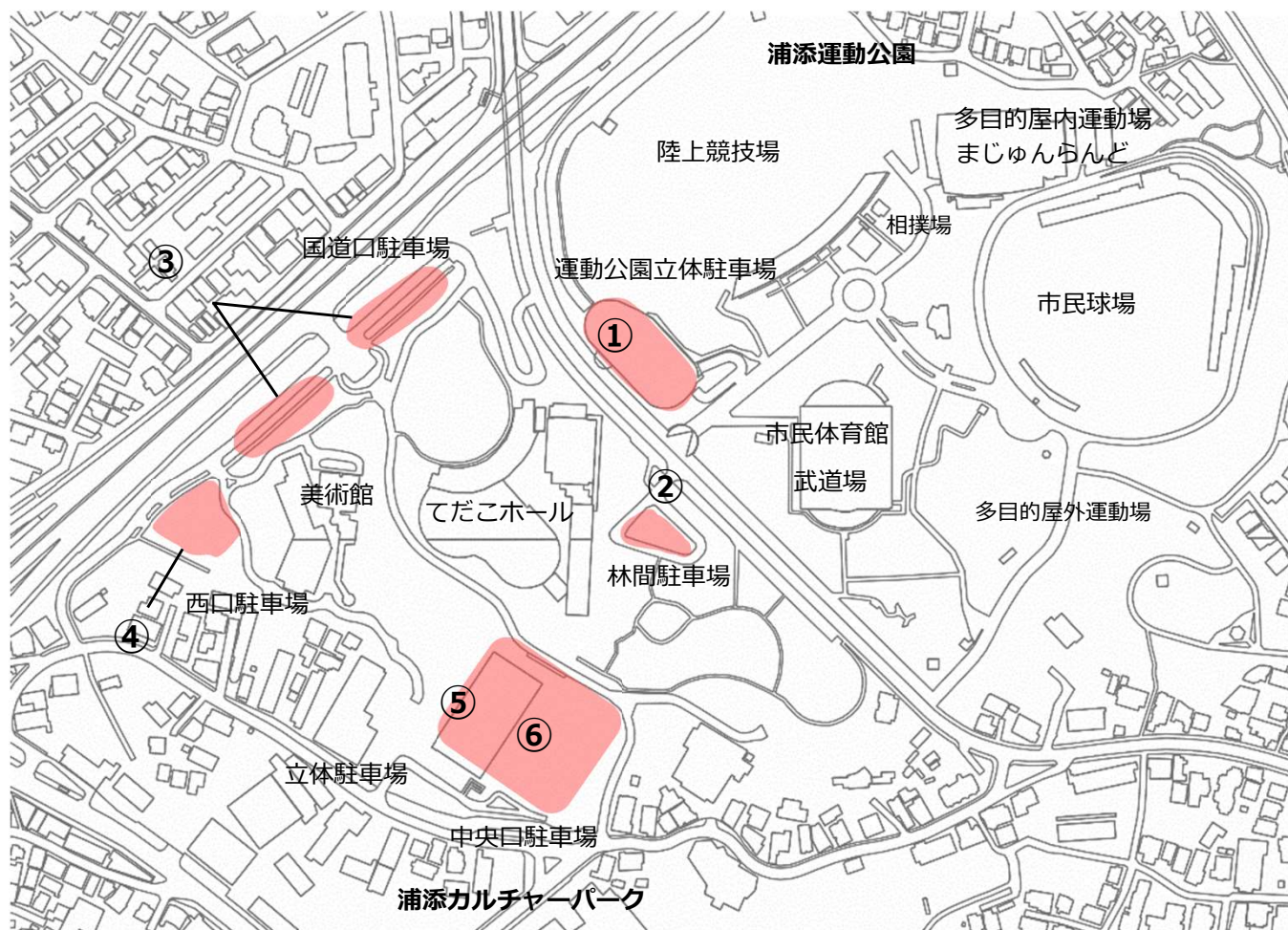
・ 大規模イベント てだこまつり(陸上競技場)R3：中止 R4：通常開催(約17万人)ヤクルトキャンプ(市民球場)R3：無観客 R4：通常開催(約6万人)

⑤ 駐車スペースの需要

- 浦添運動公園には282台分の立体駐車場があり、隣接するカルチャーパークの駐車場と合わせると約900台分整備されています（浦添市役所駐車場約60台分は含まない）。
- 目的外利用による駐車等への対応が課題となっています。

駐車場名		駐車台数
①運動公園立体駐車場		約280台
カルチャーパーク	②林間駐車場	約60台
	③国道口駐車場	約120台
	④西口駐車場	約80台
	⑤立体駐車場	約190台
	⑥中央口駐車場	約160台

出典：新浦添市民体育館整備基本計画



⑤ 駐車スペースの需要
運動公園の利用者状況

- 運動公園全体の月別の利用者数は、10月のてだこまつりと2月のヤクルトキャンプ時に突出して多くなっています。
- 利用者数が突出して多い10月と2月を除く月の平均利用者数は約39,000人（10月と2月を除く10ヶ月分の平均）

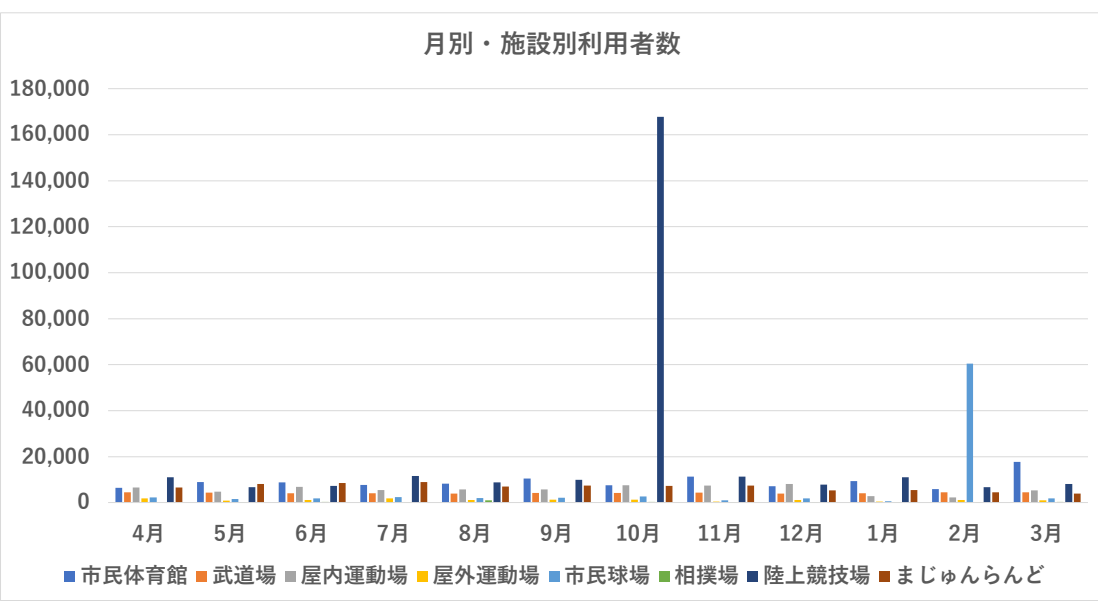
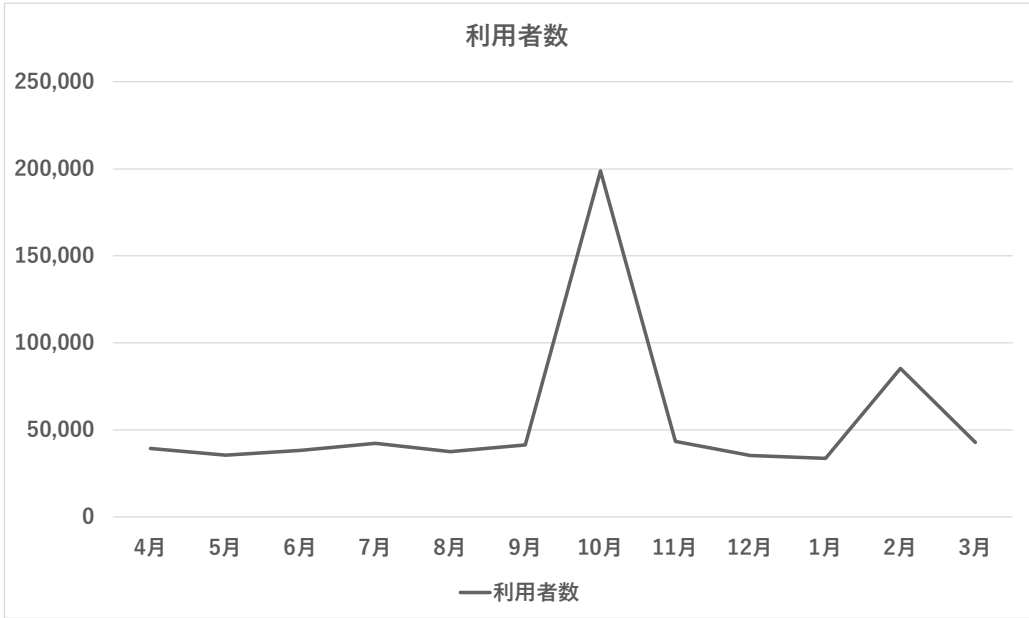


表 令和4年月別・施設別利用者数（人）

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市民体育館	6,452	8,934	8,739	7,737	8,239	10,492	7,590	11,372	7,051	9,409	5,903	17,694	109,612
武道場	4,469	4,369	4,070	4,148	3,890	4,283	4,290	4,327	3,981	4,024	4,454	4,574	50,879
屋内運動場	6,606	4,830	6,767	5,463	5,747	5,756	7,584	7,425	8,041	2,801	2,200	5,360	68,580
屋外運動場	1,808	891	1,079	1,824	1,064	1,318	1,301	483	1,075	393	1,110	990	13,336
市民球場	2,325	1,543	1,815	2,375	2,013	2,079	2,711	1,000	1,860	539	60,441	1,840	80,541
相撲場	75	149	229	147	951	150	305	104	86	90	161	313	2,760
陸上競技場	11,084	6,671	7,207	11,620	8,805	9,858	167,867	11,365	7,817	11,031	6,677	8,158	268,160
まじゅんらんど	6,613	8,143	8,509	8,941	6,942	7,418	7,183	7,410	5,404	5,465	4,451	3,951	80,430
利用者数	39,432	35,530	38,415	42,255	37,651	41,354	198,831	43,486	35,315	33,752	85,397	42,880	674,298

⑤ 駐車スペースの需要

運動公園と周辺施設のイベント状況

- ・ 運動公園のイベント等（運動会、競技大会、催事など）とカルチャーパーク内でのイベント等（保健相談センターの集団検診、美術館及びてだこホールのイベント・催事など）の日程が重複する際に駐車スペースの不足等がみられます。
- ・ 目的外利用の駐車や不法駐車などがあり、駐車場の運営に支障を及ぼしています。

表 浦添運動公園と浦添カルチャーパーク内での令和4年度のイベント等の重複状況（「○」はイベント等が実施されていることを示す）

実施日程			浦添運動公園		浦添カルチャーパーク				
					浦添市保健相談センター		美術館	てだこホール	
			陸上競技場	市民体育館	母子事業	集団検診	企画展 (主催・共催)	大ホール	小ホール
6月	19	日	浦添市長杯社会人大会	沖縄ブランド杯争奪 小学生ハンドボール大会	○		○	○	○
6月	25	土	サッカー大会	沖縄ブランド杯争奪 小学生ハンドボール大会		○	○	○	○
9月	16	金	令和4年度 那覇地区 中学校陸上競技大会		○	○	○	○	○
10月	30	日	第45回浦添てだこまつり	第45回浦添てだこまつり		○	○	○	○
11月	12	土	みのり幼稚園運動会	令和4年度 全国ヴィンテージ8'S大会		○	○	○	○
11月	13	日	資金造成大会	令和4年度 全国ヴィンテージ8'S大会		○	○	○	○
12月	18	日	アスリート工房 運動会	第51回九州高校生選抜 ハンドボール大会沖縄予選	○		○	○	○

表 カルチャーパーク内駐車場等における不法駐車の状況（単位：台）

	令和4年					令和5年				
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
立体駐車場	53	45	37	10	9	11	16	10	9	15
国道口駐車場	0	0	22	25	21	27	25	0	25	19
あかひら前臨時駐車場前臨時駐車場	0	3	1	0	3	3	6	3	4	4
中央口駐車場（保健相談センター前）	0	0	0	0	6	1	2	1	2	3
中央口駐車場（つどいの広場）	0	0	0	0	1	2	2	0	2	2
西口駐車場	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
総計	53	48	61	35	40	44	51	14	42	43

※8月のみ5回調査実施。その他は1ヶ月に2日（朝、夜間に確認）調査。放置バイクは台数から除いている。

⑤ 駐車スペースの需要

令和4年の利用者数から試算

平日、休日の利用者数の試算

- ・ 利用者数が突出する10月と2月を除いた月平均利用者数の約39,000人に近い、令和4年4月の利用者数を基準に必要な駐車スペースを試算します。
- ・ 国土交通省「令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」」の結果を参考に平日と休日の利用者数を試算します。

月平均利用者数		39,400	令和4年の10月と2月を除いた月平均利用者数約39,000人、令和4年4月の利用者数は約39,400人
平日の利用者数（試算）		1,100	
休日の利用者数（試算）		1,700	
参考値	平日の利用者数	1,300	国土交通省「令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」」の結果
	休日の利用者数	1,900	
	平日の日数	20	R4年4月
	休日の日数	10	

平日、休日の駐車スペース規模の試算

- ・ 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、運動公園内の立体駐車場で必要台数を確保できる試算となります。

項目		令和4年4月利用者数での試算		令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」結果での参考値		備考
		平日	休日	平日	休日	
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	462	714	546	798	
駐車場規模の試算	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	駐車場規模（台）	196	251	232	280	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		84	29	48	0	

⑤ 駐車スペースの需要

令和9年の利用者数（ケース1，ケース2）から試算

平日、休日の利用者数の試算

- R9年の利用者について、公園・施設利用者数の需要予測から大規模イベントを除いた年間利用者数はケース1が約56万人、ケース2が約65万人であり、それぞれの月平均の利用者数4.7万人と5.4万人で試算します。

	令和9年の利用者数 (ケース1)	令和9年の利用者数 (ケース2)	
月平均利用者数	47,000	54,000	令和9年の大規模イベントを除いた年間利用者数の月平均
平日の利用者数（試算）	1,358	1,560	
休日の利用者数（試算）	1,984	2,280	

※ケース1の大規模イベントを除いた年間利用者数56万人
＝ケース1の年間利用者数79万人－てだこまつり17万人－ヤクルトキャンプ6万人

※ケース2の大規模イベントを除いた年間利用者数65万人
＝ケース2の年間利用者数88万人－てだこまつり17万人－ヤクルトキャンプ6万人

てだこまつり、ヤクルトキャンプの利用者数は
令和4年度の実績値

平日、休日の駐車スペース規模の試算

- 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、休日では運動公園内の立体駐車場が必要台数を確保できない試算となります。

項目		令和9年の利用者数 (ケース1)での試算		令和9年の利用者数 (ケース2)での試算		備考
		平日	休日	平日	休日	
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	570	833	655	958	
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	駐車場規模（台）	242	293	278	336	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		38	-13	2	-56	

⑤ 駐車スペースの需要

大規模イベントのある10月、2月と大規模イベントがない月で最も多い11月の利用者数から試算

平日、休日の利用者数の試算

- 大規模イベントのある令和4年10月と令和5年2月、大規模イベントがない月で利用者数が最も多い11月で必要な駐車スペースを試算します。

		大規模イベントがある月		大規模イベントがない月で最大
		令和4年10月	令和5年2月	令和4年11月
月平均利用者数		199,000	85,400	43,486
平日の利用者数（試算）		5,500	2,700	1,300
休日の利用者数（試算）		8,100	3,900	1,800
参考値	平日の日数	20	19	20
	休日の日数	11	9	10

平日、休日の駐車スペース規模の試算

- 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、令和4年10月と令和5年2月では、運動公園内の立体駐車場で必要台数を確保できない試算となります。

項目		令和4年10月 利用者数での試算		令和5年2月 利用者数での試算		令和4年11月 利用者数での試算		備考
		平日	休日	平日	休日	平日	休日	
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	2,310	3,402	1,134	1,638	546	756	
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	1.48	1.79	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	駐車場規模（台）	982	1,195	482	576	232	266	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		-702	-915	-202	-296	48	10	

※10月のてだこまつりでは、運動公園立体駐車場等は一般利用者の使用は不可となっている。

⑤ 駐車スペースの需要

コロナ禍前の平成29年利用者数から試算

平日、休日の利用者数の試算

- 大規模イベントの利用者数を除いた平成29年度の年間利用者数約92.6万人での月平均利用者数と、大規模イベントがない月で利用者数が最も多い9月と最小の1月で必要な駐車スペースを試算します。

		最大（9月）	最小（1月）	平均
月利用者数		90,000	50,700	77,000
平日の利用者数（試算）		2,600	1,400	2,200
休日の利用者数（試算）		3,800	2,100	3,300
参考値	平日の日数	20	21	20
	休日の日数	10	10	10

※大規模イベントを除いた平成29年度利用者数92.6万人
 =平成29年度の年間利用者数113.5万人－てだこまつり
 17.7万人－ヤクルトキャンプ約3.2万人

てだこまつり、ヤクルトキャンプの利用者数は
 平成29年度の実績値

平日、休日の駐車スペース規模の試算

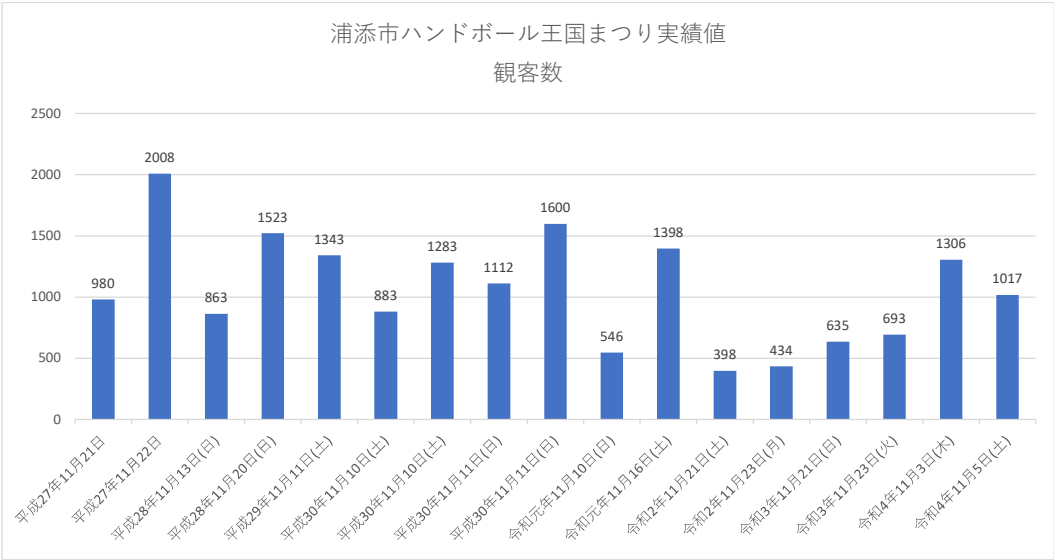
- 平日と休日の利用者数から、同時最大利用者数を算出し、自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、最小月の1月の平日以外では、運動公園内の立体駐車場で必要台数を確保できない試算となります。

項目		最大（9月）		最小（1月）		平均		備考
		平日	休日	平日	休日	平日	休日	
同時最大利用者数の算定	回転率	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	回転率：1日のうちで、最も利用者数の多い時刻の利用者数に対する割合。運動公園の平均滞在時間を約2時間と想定すると、回転率は1/2.4となる（自然公園等施設技術指針）。
	同時最大利用者数（人）	1,092	1,596	588	882	924	1,386	
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	0.63	令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」より 平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、平日、休日）
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.48	1.79	1.48	1.79	1.48	1.79	
	駐車場規模（台）	464	561	250	310	393	487	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		-184	-281	30	-30	-113	-207	

⑤ 駐車スペースの需要

イベント時の利用者数から試算

- 平成27年から令和4年までに開催された浦添市ハンドボール王国まつり（浦添市を拠点に活動している琉球コラソンが参戦する日本ハンドボールリーグ沖縄大会の本浦添市開催試合）の観客数から最大、最小、平均の観客数を試算します。
- 観客数から自動車の分担率、1台あたり同乗者数から駐車スペースの規模を試算した結果、最大と平均では運動公園内の立体駐車場が必要台数を確保できない試算となります。参考値として、**新市民体育館の3,000人規模で試算した場合、運動公園内の立体駐車場が必要台数を確保できない試算となります。**



項目		実績から算定			参考	備考
		最大	最小	平均	新市民体育館	
観客数		2,008	398	1,060	3,000	浦添市ハンドボール王国まつり実績値（H27～R3）
駐車場規模の算定	自動車の分担率	0.63	0.63	0.63	0.63	国土交通省「令和3年度都市公園利用実態調査「利用者数調査」」の結果
	1台あたり同乗者数（人/台）	1.79	1.79	1.79	1.79	平成27年度全国道路・街路交通情勢調査（運行目的別平均乗車人数：私事、乗用車、休日1.79）
	駐車場規模（台）	706	140	372	1,054	
運動公園立体駐車場台数（約280台）での過不足		-426	140	-92	-774	

※「浦添市ハンドボール王国まつり（日本ハンドボールリーグ沖縄大会）」
浦添市では平成16年に「ハンドボール王国都市宣言」を行い、市をあげてハンドボールを応援。浦添市を拠点に活動している琉球コラソンが参戦する日本ハンドボールリーグ沖縄大会の本浦添市開催試合を「浦添市ハンドボール王国まつり」と称し、共催事業として琉球コラソンの支援並びにハンドボールをとoshitamachizukuriの振興を図っている。
主催 公益財団法人日本ハンドボール協会 日本ハンドボールリーグ機構 株式会社コラソン
会場 浦添市民体育館

① ゾーニングの考え方

利用状況等を踏まえて以下の8ゾーンを設定

市民等の利用を中心しつつ、プロスポーツ等の興行にも対応できる「**するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠ**」（新市民体育館、陸上競技場、市民球場）

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たな**スポーツ・観光の交流拠点**に資するゾーン

市民等のスポーツ・運動の利用を中心とする「**するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡ**」（市民体育館）

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる**生涯スポーツの推進**や**スポーツ交流**に資するゾーン

するスポーツゾーン（屋外運動場、まじゅんらんど等）

主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のための**スポーツ・運動利用**を担うゾーン
※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン

交流ゾーン

オープンスペースを利用したイベントや魅力ある便益施設などにより賑わいを生み出し、**運動公園内の交流の核**となるゾーン

メインエントランスゾーン

市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す**公園の顔**となるゾーン

エントランスゾーン

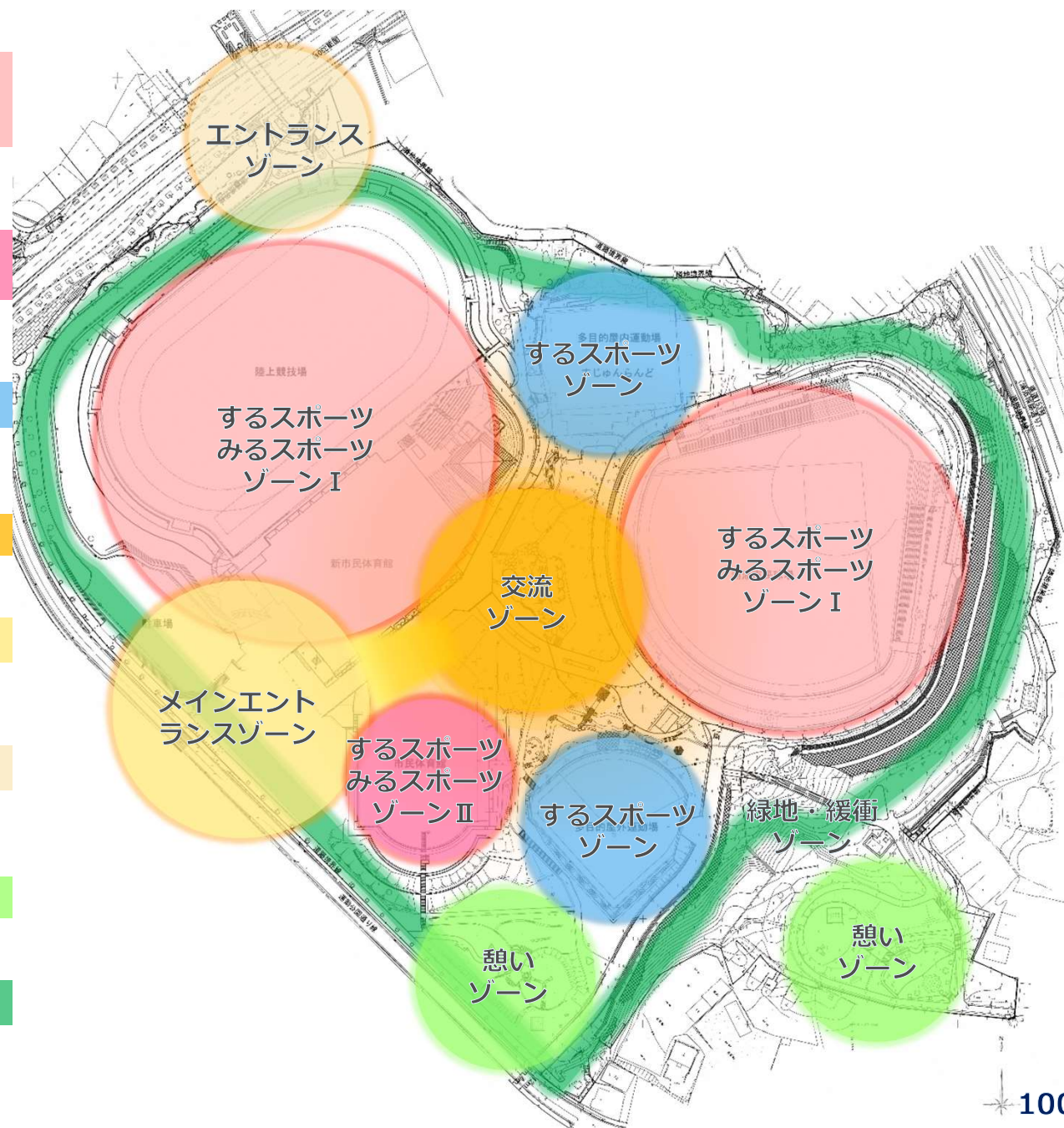
サブエントランスとして、徒歩やバス等の公共交通で訪れる利用者を緑陰等で迎え入れ、交流や憩いの場を生み出すとともに、緊急車両の進入を確保するなど、**安全・安心や防災の機能**をもつゾーン

憩いゾーン

高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら**休息・交流等**ができるゾーン

緑地・緩衝ゾーン

地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながら**スポーツ、健康づくり交流**に資するとともに、周辺の住宅街や道路との**緩衝帯**の役割を担うゾーン



① 動線の考え方

通常時の動線

- ・ 歩行者動線は、各施設にスムーズに移動できるゆとりある空間を確保するとともに、車両動線と重なる部分は安全に歩行できるように配慮します。
- ・ 陸上競技場や市民球場の周囲はウォーキングやランニングコースとして利用されており、自然を感じながら歩行・ランニングできる空間整備を行います。
- ・ 高低差を活かし自然や景色の変化を感じることができる歩行空間を確保します。

災害時の動線

- ・ 災害時に、エントランスゾーン及び市道側の憩いゾーンから緊急車両が進入できる空間を確保します。
- ・ 災害時の一時避難場所となる陸上競技場、市民球場等までの経路について安全に移動できる空間を確保します。

デザインイメージ案



ゆとりある歩行空間の確保



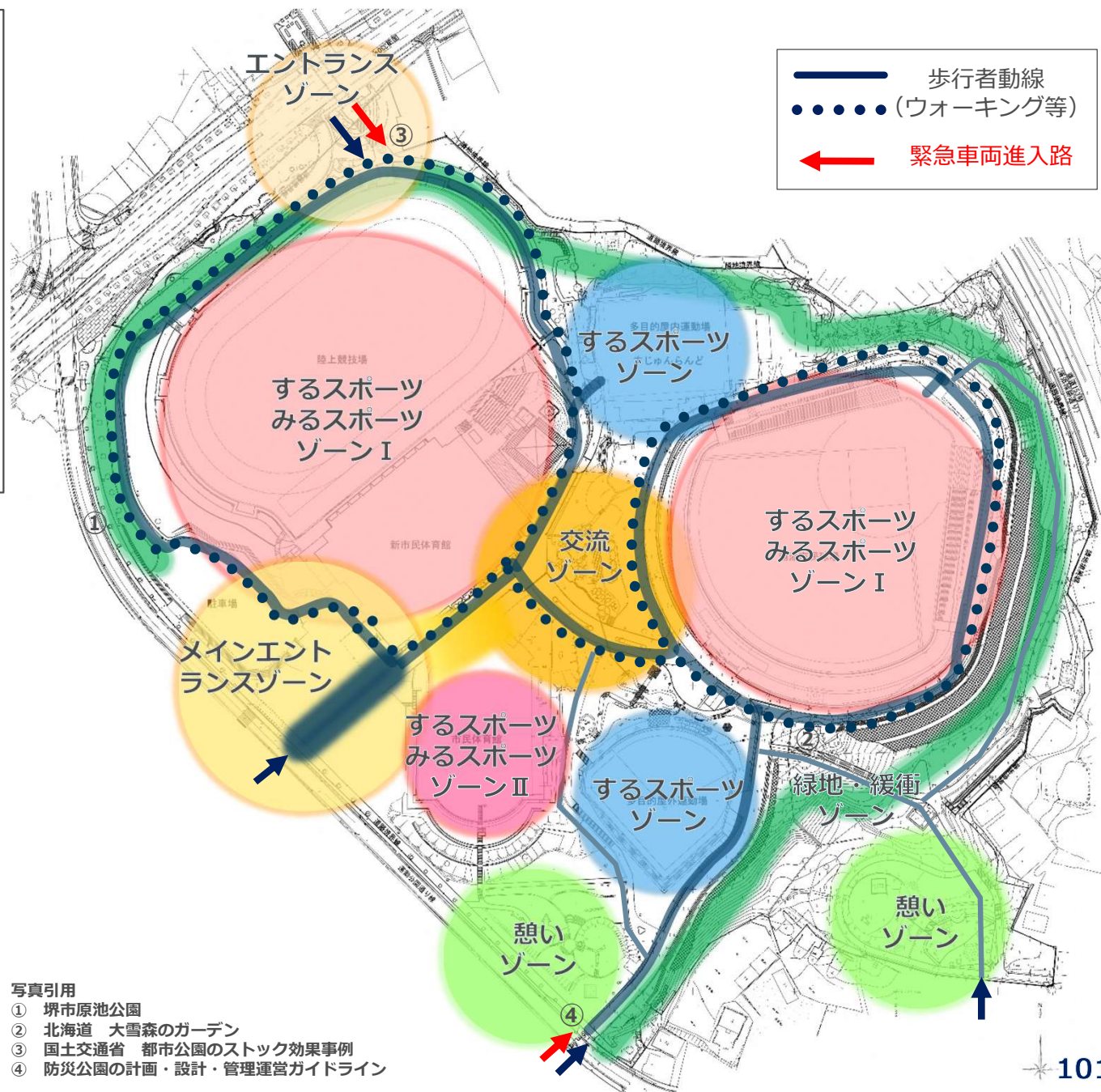
自然を感じながら歩行・ランニングできる空間



高低差を活かし自然や景色の変化を感じられる歩行空間



緊急車両が進入できる空間を確保



写真引用

- ① 堺市原池公園
- ② 北海道 大雪森のガーデン
- ③ 国土交通省 都市公園のストック効果事例
- ④ 防災公園の計画・設計・管理運営ガイドライン

① するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの整備方針

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

ゾーン内の構成要素

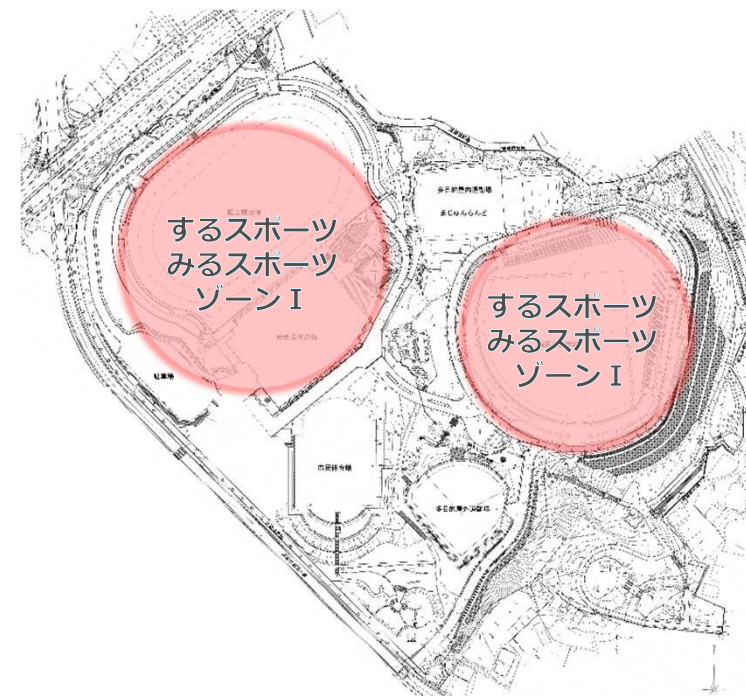
陸上競技場、新市民体育館、相撲場、市民球場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 陸上競技場：陸上競技、ジョギング、散歩、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ、プロスポーツ等の春季キャンプ、てだこまつり等
- ・ 新市民体育館：ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、フットサル、バドミントン、卓球、プロスポーツ等の試合・大会、eスポーツ、コンサート、MICE等
- ・ 相撲場：相撲
- ・ 市民球場：野球、ソフトボール、プロスポーツ等のキャンプ等

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場の整備」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「観るスポーツの楽しみ方の提供」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」「プロスポーツの実施、スポーツキャンプ地の誘致」



ゾーン整備の方針

- ▲ ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- ゾーン内の緑地の適切な配置及び維持管理
- 市民、県民、観光客、軍属等が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ▲ 利用頻度が高く、人と人とのつながりやリアルな交流を創出させる運動施設や空間の魅力向上と機能強化
- ▲ ■ プロスポーツが実施できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう現地対策本部や自衛隊活動拠点等の役割を担う等、災害対策・復旧活動の核となる防災機能を確保
- ◆ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、興行による地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理
- 景観まちづくり計画やティードヌファ緑の基本計画等を踏まえ、トップアスリートの競技等の観戦の魅力向上に資する良好な景観の形成
- スポーツコンベンションの推進に寄与する運動施設整備
- ★ 陸上競技場・相撲場は先行する新市民体育館整備と連携して整備に取り組み、他運動施設は長寿命化計画等と照らし合わせながら計画・整備に取り組み

ゾーン整備の方針は、●再整備の方針1、▲再整備の方針2、◆再整備の方針3、■再整備の方針4、★再整備の方針5に対応する（以下、他ゾーンも同様）

②するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡの整備方針

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる生涯スポーツの推進やスポーツ交流に資するゾーン

ゾーン内の構成要素

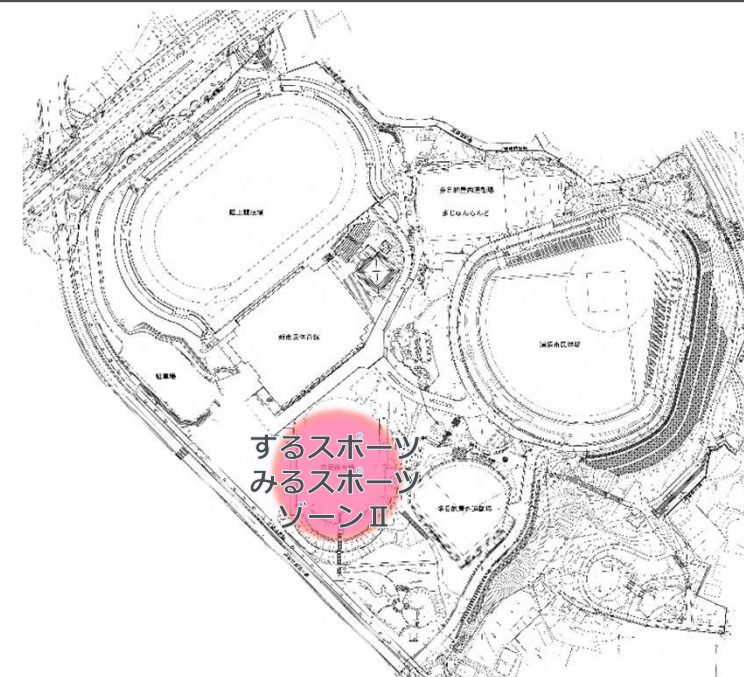
市民体育館、武道場、トレーニングルーム

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・市民体育館：ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、テニス、市民のスポーツ大会、沖展等
- ・武道場：柔道、剣道、体操、卓球、ダンス等
- ・トレーニングルーム：マシンを使ったトレーニング、ストレッチ

ゾーン内の課題

- ・まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- ・安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「観るスポーツの楽しみ方の提供」「既存市民体育館の今後の運用」
- ・公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- ・スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」



ゾーン整備の方針

- ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備と施設の更新
- 市民、県民、観光客、軍属等が利用しやすい案内表示やICTを活用した柔軟な予約システム、情報発信の整備
- ■ 生涯スポーツの推進やスポーツ、レクリエーションの普及に寄与する運動施設の更新
- ▲ 市民、県民、軍属等がスポーツや健康づくり、交流できる施設・設備の更新と子どもの大会などのスポーツ観戦が楽しめる環境整備
- ▲ 既存市民体育館と新市民体育館は二つの拠点機能として相互補完により、多様な利用シーンに対応できるような施設・環境整備
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう保健衛生（身元確認所等）の役割を担う必要な機能を確保
- ◆ 利用者の利便性を高めると共に、スポーツ・健康づくり等による活力ある地域の賑わい創出につながる施設の運営・管理
- 新市民体育整備と調和を図る良好な景観の形成と緑地の配置
- ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等と照らし合わせながら施設の更新等の計画・整備に取り組む

③するスポーツゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン
※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン

ゾーン内の構成要素

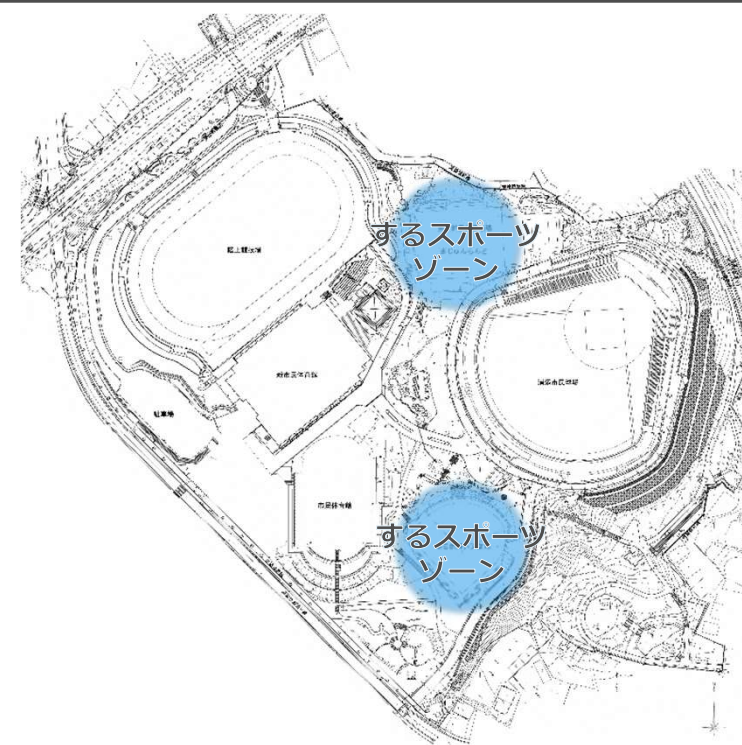
まじゅんらんど、多目的屋内運動場、多目的屋外運動場、スケートボード広場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- まじゅんらんど：水泳、マシンをつかったトレーニング、スタジオレッスン、カルチャースクール等
- 多目的屋内運動場：テニス、フットサル、ドッジボール、野球練習等、保育園や幼稚園の運動会、プロ野球キャンプ時の練習場
- 多目的屋外運動場：野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、プロ野球キャンプ時の練習場
- スケートボード広場：スケートボード、ローラースケート等

ゾーン内の課題

- まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」
- 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」「民間活力等による財源の効率化」「収益確保による財政の負担軽減」
- スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」「スポーツコンベンションの推進」



ゾーン整備の方針

- ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備と施設の更新
- メインエントランスから本ゾーン内の施設まで利用者に分かりやすい案内表示や、ICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- 市民や地域住民・団体等のするスポーツや健康づくり、イベントでの利用に応じた施設・設備の更新
- 利用者の利便性を高めると共に、健康増進や心身機能の維持・回復、コミュニケーションの活性化につながるような施設の運営・管理
- 子ども、高齢者、障がい者等のスポーツ参加や健康づくり、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションの推進に資する施設・設備の更新
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう生活支援（給水・入浴等）の役割を担う必要な機能を確保
- 周辺の運動施設や環境と調和を図る良好な景観形成や緑地の維持・保全
- ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等と照らし合わせながら施設の更新等の計画・整備に取り組む

④交流ゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

オープンスペースを利用したイベントや魅力ある便益施設などにより賑わいを生み出し、**運動公園内の交流の核となるゾーン**

ゾーン内の構成要素

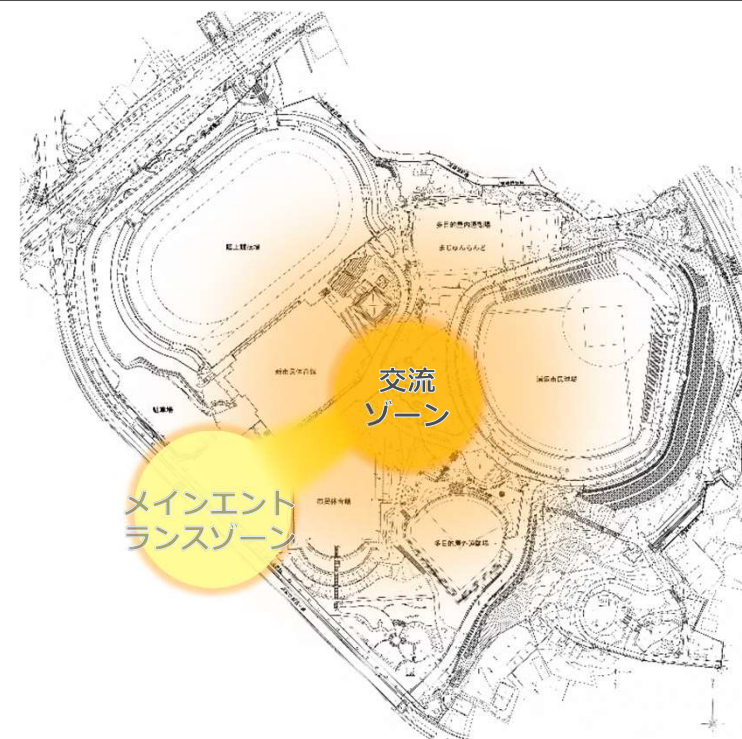
売店施設、広場、ビオトープ

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 売店施設：休憩、飲食（休日、イベント時）
- ・ 広場：イベント、自然とのふれあい、災害時の避難等
- ・ ビオトープ：水辺空間

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- ゾーン内の運動施設・園路は、子どもや高齢者、障がい者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- 自然を感じる水辺やみどりの配置と地域の賑わいや交流を生み出すイベント等の実施を可能にする交流の核となるオープンスペースの整備
- 園内中央に位置するゾーンとして各施設に誘導する案内表示や、ICTを活用した施設情報発信の整備
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に避難できるよう生活支援（仮設トイレ等）の役割を担う必要な機能を確保
- ▲◆ Park-PFIの活用も含め利用者の休憩や飲食利用等に対応した魅力ある便益施設の運営や環境の整備
- 周辺の運動施設や自然、オープンスペースと調和を図る良好な景観の形成
- メインエントランスとの一体的な利用や他ゾーンで行われるスポーツイベント等と連携し、市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による魅力ある公園（オープンスペース）づくり
- ★ 先行する新市民体育館やメインエントランスの整備と連携すると共に、周辺運動施設との関係性を踏まえたオープンスペースの整備に取り組む

⑤メインエントランスゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す**公園の顔**となるゾーン

ゾーン内の構成要素

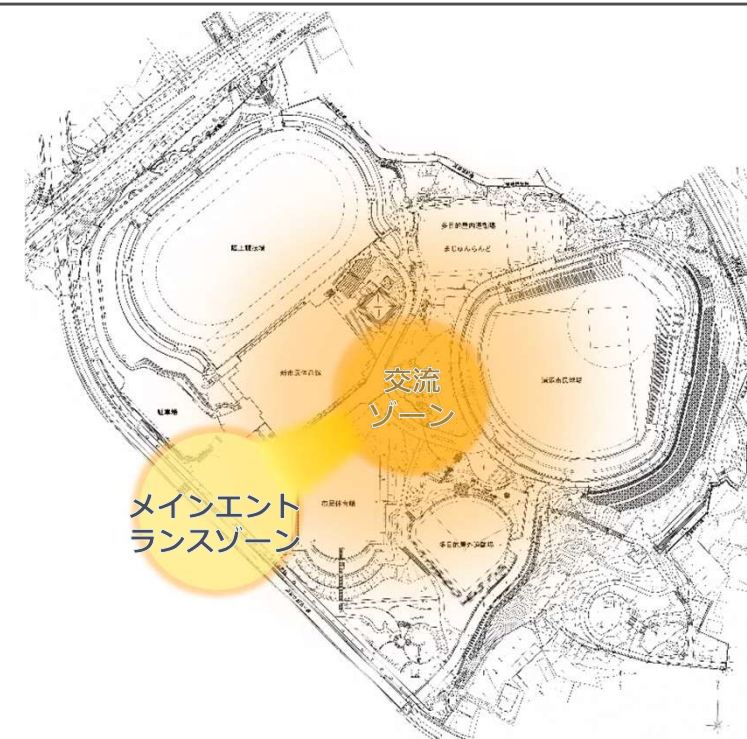
正面入口、園路、立体駐車場

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 正面入口：利用者の入退園、待合せ
- ・ オープンスペース：交流
- ・ 園路：各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動
- ・ 立体駐車場：利用者の駐車、各施設へのアクセス

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」



ゾーン整備の方針

- 子どもや高齢者、障がい者をはじめ、様々な利用者を快適に迎え入れることが可能となる利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- 市民、県民、観光客、軍属等のはじめて訪れる利用者にも、目的施設等に分かりやすく誘導する園路と案内表示の整備
- 自家用車やレンタカー、観光バスなどのアクセスに対応した駐車スペースの適切な運用と確保
- 市内外から多様な交通手段で訪れることができるアクセス性の確保
- 交流ゾーンと連携し、地域の賑わいや交流を生み出すイベント等の実施を可能にする空間の整備
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に公園内に避難できるようゲート・オープンスペース等の必要な機能を確保
- 市内外からの利用者を迎え入れる公園の顔としてまちなみや周辺環境と調和を図る良好な景観の形成
- ★ 新市民体育館や交流ゾーンの整備と連携した園路やオープンスペース等の整備に取り組む

⑥ エントランスゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

サブエントランスとして、徒歩やバス等の公共交通による利用者を緑陰等で迎え入れ、交流や憩いの場を生み出すとともに、緊急車両の進入を確保するなど、**安全・安心や防災の機能**をもつゾーン

ゾーン内の構成要素

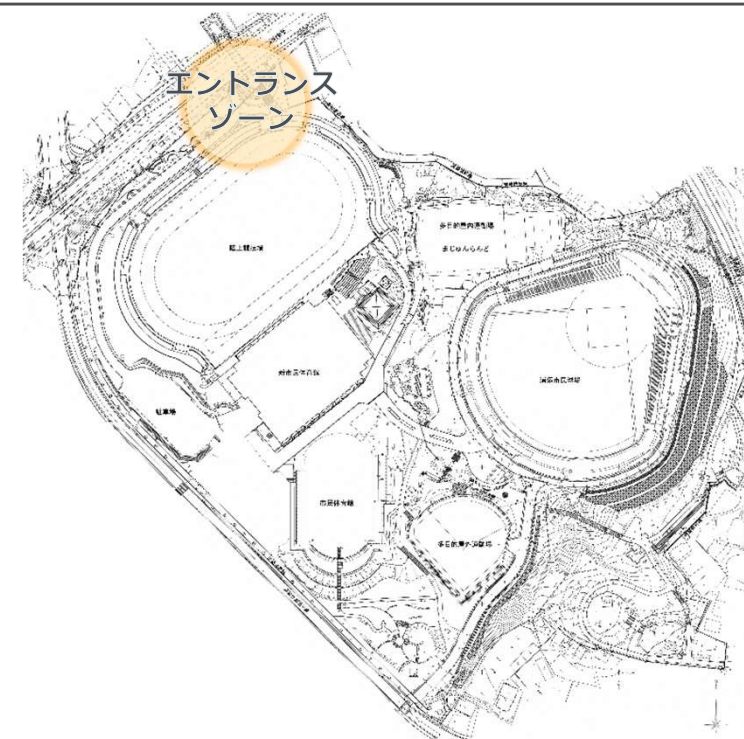
国道入口

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 国道入口：利用者の入退園、国道330号からの車両の進入、災害時等の緊急車両の進入

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「利用者のアクセス性向上、駐車スペースの確保」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」



ゾーン整備の方針

- 子どもや高齢者、障がい者をはじめ、様々な利用者を快適に迎え入れ、交流や憩いの場となるユニバーサルデザインによる空間整備
- 市民、県民、観光客、軍属等のはじめて訪れる利用者にも、目的施設等に分かりやすく誘導する園路と案内表示の整備
- 市内外から多様な交通手段で訪れることができるアクセス性の確保
- ▲ 災害時に市民等が安全・安心に公園内に避難できるようゲートとして必要な機能を確保すると共に、大型緊急車両の進入が可能となるような空間の整備に取り組む
- 徒歩やバス等の公共交通による利用者を迎え入れるエントランスとしてまちなみや周辺環境と調和を図る良好な景観の形成
- ★ 陸上競技場の整備と連携したエントランス空間の整備に取り組む

⑦憩いゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら**休息・交流等**ができるゾーン

ゾーン内の構成要素

遊具広場、オープンスペース、関係者入口

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 遊具広場：子どもの遊び場、休憩、交流、散歩等
- ・ オープンスペース：休憩、交流、散歩等
- ・ 関係者入口：関係車両の進入等

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」「人と人とのつながり、リアルな交流を生み出す場」
- ・ 安全・安心で誰もが利用しやすく楽しめる、「老朽・陳腐化した施設・設備の魅力向上・機能強化」「便益施設（飲食店等）の魅力・利便性向上」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「収益確保による財政の負担軽減」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- 子どもの遊びや地域住民の憩い・交流等で利用しやすいオープンスペースとしてユニバーサルデザインによる整備
- 自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持・保全
- 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進
- 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすい案内表示等の整備
- ▲◆眺望の良さや低未利用地の空間を活かし、Park-PFIの活用も含め利用者の利便性や交流機会を高める魅力ある便益施設の導入
- ▲ 災害時の大型緊急車両の進入や被災者の一時避難場所までの安全な避難等を確保する空間の整備
- 周辺のまちなみと調和を図る自然豊かで良好な景観形成
- 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）づくり
- ★ 利用者のニーズ等を踏まえながら便益施設の導入等に取り組む

⑧緑地・緩衝ゾーンの整備方針

ゾーンの整備目標

地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながら**スポーツ、健康づくり交流**に資するとともに、周辺の住宅街や道路との**緩衝帯の役割**を担うゾーン

ゾーン内の構成要素

緑地空間

ゾーン内で想定される利用・使用形態

- ・ 緑地空間：自然との触れ合い、住宅地との緩衝帯、景観形成
- ・ 園路：各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動

ゾーン内の課題

- ・ まちなかにある立地や特徴的な地形等を活かした、「利用者の利用目的・形態に応じた利用空間の整備」「グリーンインフラとしての保全・利活用」
- ・ 公園・運動施設の持続可能な管理運営、「公園・運動施設・設備の適切な維持管理・更新」
- ・ スポーツを通じて活力あるまちづくり、「上位・関連計画や施策と連携した再整備計画」「市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり」



ゾーン整備の方針

- 高低差があっても移動しやすく自然を感じながらの散歩・ジョギング等の健康づくりや、休憩、交流等ができる木陰やベンチが適切に配置された園路及び緑地空間の形成
- 運動施設や園内の利用者の快適性の向上に寄与し、維持管理上の支障とならない、良好な景観形成のための緑地の適正な配置及び維持・保全
- 周辺の緑地と合せて、災害時にグリーンインフラとして防災機能を有する緑地の維持・保全
- ◆ 周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担う緑地の適切な維持・保全
- 市の緑の拠点として緑地空間の保全や、地域の緑の骨格を形成する丘陵と調和を図る良好な自然景観の形成
- 自然豊かで魅力ある公園を持続するために市民・地域住民・地域の事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）の維持・保全
- ★ 新市民体育館や陸上競技場、相撲場等の整備と連携した緑地の適正な配置及び維持・保全に取り組む

⑨防災に関する整備方針

防災に関する課題

浦添市地域防災計画等と連携した公園・運動施設の防災機能の維持・向上

防災に関する整備方針

地域防災計画より運動公園は、災害時の広域避難場所に位置付けており、求められる当該機能の維持・向上と今後に予定される地域防災計画の見直しと連携した整備を図る。
災害時に防災機能を有するグリーンインフラ

⑩環境に関する整備方針

環境に関する課題

カーボンニュートラルの実現に資する、園内や周辺の住環境に配慮した環境整備の推進

環境に関する整備方針

園内の緑地や水辺空間の維持・保全と、運動施設等への再生可能エネルギーの導入など、園内外の環境に配慮した整備を図る。
生物多様性の保全等に貢献するグリーンインフラ

⑪景観に関する整備方針

景観に関する課題

- ・ 新市民体育館整備に伴う景観の変容への対応
- ・ 浦添の風土やみどりの骨格を形成する周辺の自然景観の維持・保全

景観に関する整備方針

丘陵地と周辺の緑地等の景観資源を活かしつつ、公園利用者が自然を感じながら、海への眺望を楽しむなど、ゆっくりと過ごすことができる良好な自然景観の維持・保全

⑫新技術・DXに関する整備方針

新技術・DXに関する課題

デジタル技術やデータの利活用など、新技術の導入による利用者サービスの向上

新技術・DXに関する整備方針

公園管理者の現場のニーズと新技術の開発者側のシーズがマッチングするものの検討や関係機関からの情報提供など、利用者サービスの向上に資する新技術の導入を図る。

⑬維持管理運営に関する整備方針

維持管理運営に関する課題

- ・ 公園・施設・設備の適切かつ持続可能な維持管理・更新
- ・ 公園の付加価値や維持管理・更新費用の低減を図るため、民間活力の導入

維持管理運営に関する整備方針

持続可能な公園・運動施設の適切な運営・管理手法の見直し
民間活力の導入による公園・運動施設の管理・運営の検討

⑭まちづくりに関する方針

まちづくりに関する課題

- ・ 公園全体の魅力向上を図り、スポーツ・健康づくり等による活力あるまちづくり
- ・ 市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園（オープンスペース）づくり

まちづくりに関する方針

まちなかという立地特性を活かし、周辺の施設や住民、事業者、行政等が連携を図りながら、スポーツを通じて多様な交流・賑わいを創出させ、周辺にも波及させていくまちづくり
バス停やモノレール駅、周辺施設等と連携した公園までのアクセス性を高めるサイン計画の検討

⑨防災に関する整備方針

各運動施設の防災機能については自然災害及び人為災害毎に以下のとおり計画しており、引き続き、浦添市地域防災計画（令和6年度見直し）と連携を図りながら整備に取り組む。

■施設の機能（自然災害時）

公園内オープンスペース
・マンホールトイレ

陸上競技場
・被災者一時避難場所
・自衛隊活動拠点
・支援物資荷捌き及び保管場所
・仮設住宅

相撲場
・避難所ごみ集積所

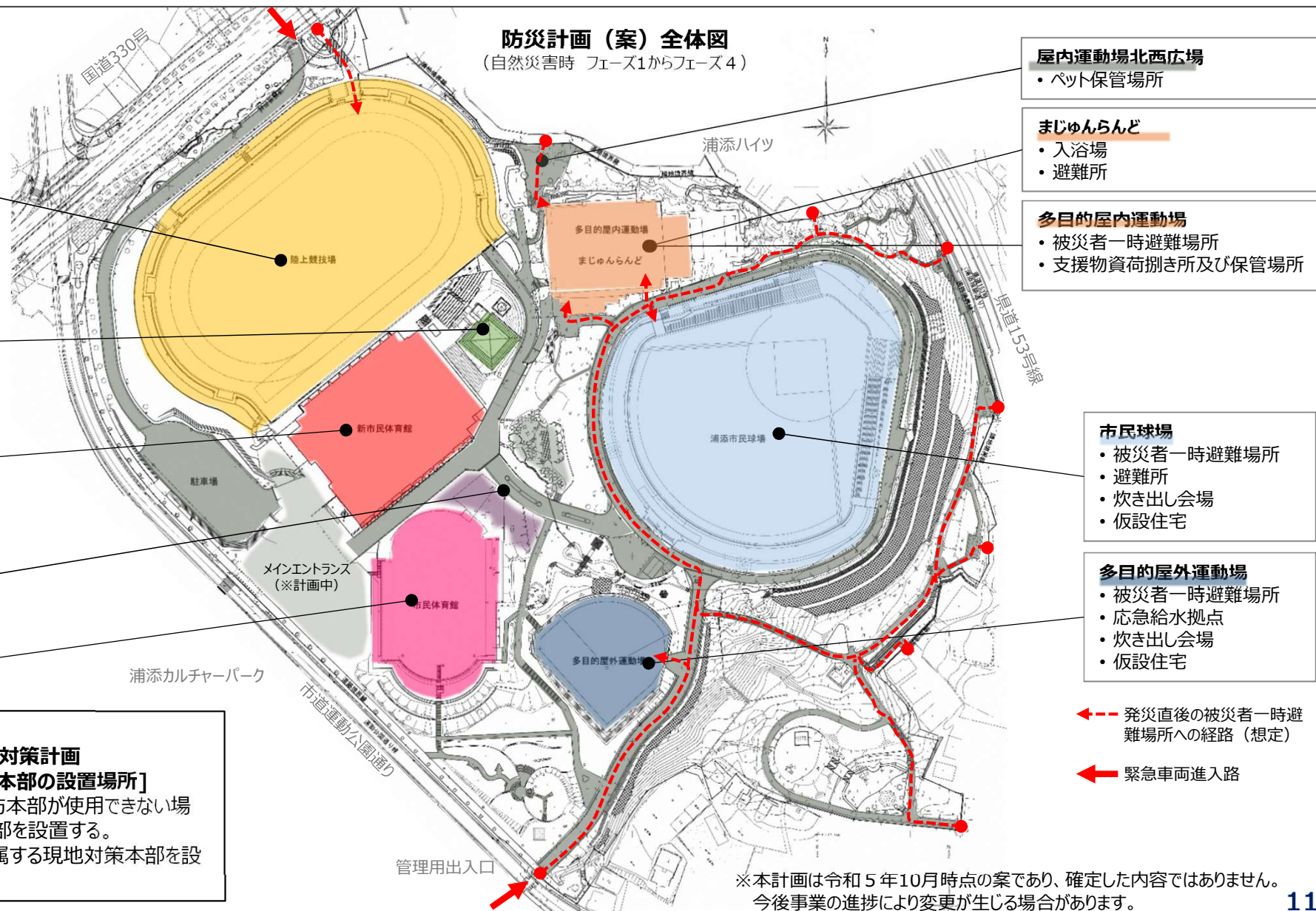
新市民体育館
・災害対策本部（下記注釈）
・避難所運営班
・現地対策本部
・避難所
・ボランティアセンター

既存市民体育館前広場
・仮設トイレ

既存市民体育館
・身元確認スペース等
（身元確認、検視、安置）

注釈
浦添市地域防災計画 災害応急対策計画
第1章 第1節 項番3 [災害対策本部の設置場所]
災害により市役所庁舎及び市消防本部が使用できない場合は、市民体育館に災害対策本部を設置する。
また、状況により災害対策本部に属する現地対策本部を設置する。

防災計画（案）全体図 （自然災害時 フェーズ1からフェーズ4）



施設の機能 (自然災害)	フェーズ1 発災直後	フェーズ2 発災後～72時間	フェーズ3 発災72時間後～数週間	フェーズ4 復旧・復興	全体 (フェーズ1～フェーズ4)
市民球場	被災者一時避難場所	避難所	- 避難所 - 仮設住宅着工準備 - 炊き出し会場	仮設住宅	- 被災者一時避難場所 - 避難所 - 炊き出し会場 - 仮設住宅
多目的屋内運動場	被災者一時避難場所	支援物資荷捌き所及び保管場所	支援物資荷捌き所及び保管場所	支援物資荷捌き所及び保管場所	- 被災者一時避難場所 - 支援物資荷捌き所及び保管場所
まじゅんらんど	特になし	- 入浴場(準備) - 避難所	- 入浴場 - 避難所	特になし	- 入浴場 - 避難所
陸上競技場	被災者一時避難場所	自衛隊活動拠点	- 自衛隊活動拠点 - 支援物資荷捌き及び保管場所 - 仮設住宅着工準備	仮設住宅	- 被災者一時避難場所 - 自衛隊活動拠点 - 支援物資荷捌き及び保管場所 - 仮設住宅
新市民体育館	- 災害対策本部 - 避難所運営班(準備) - 現地対策本部	- 災害対策本部 - 避難所運営班 - 現地対策本部 - 避難所 - ボランティア受入窓口	- 災害対策本部 - 避難所運営班 - 現地対策本部 - 避難所 - ボランティアセンター	- 災害対策本部 - 現地対策本部 - ボランティアセンター	- 災害対策本部 - 避難所運営班 - 現地対策本部 - 避難所 - ボランティアセンター
既存市民体育館	特になし	- 身元確認 - 検視 - 安置	- 身元確認 - 検視 - 安置	- 身元確認 - 検視 - 安置	- 身元確認 - 検視 - 安置
多目的屋外運動場	被災者一時避難場所	応急給水拠点	- 応急給水拠点 - 炊き出し会場 - 仮設住宅着工準備	仮設住宅	- 被災者一時避難場所 - 応急給水拠点 - 炊き出し会場 - 仮設住宅
公園内オープンスペース	特になし	マンホールトイレ	マンホールトイレ	特になし	マンホールトイレ
既存市民体育館前広場	特になし	仮設トイレ	仮設トイレ	特になし	仮設トイレ
屋内運動場北西広場	特になし	ペット保管場所	ペット保管場所	ペット保管場所	ペット保管場所
相撲場	特になし	避難所ごみ集積所	避難所ごみ集積所	避難所ごみ集積所	避難所ごみ集積所

⑨防災に関する整備方針

■施設の機能（人為災害）

陸上競技場

- ・被災者一時避難場所
- ・自衛隊活動拠点
- ・炊き出し会場

相挫場

- ・避難所ごみ集積所

新市民體育館

- ・災害対策本部（下記注釈）
- ・避難所運営班
- ・現地対策本部
- ・避難所
- ・ボランティアセンター

既存市民体育館

- 身元確認スペース等
(身元確認、検視、安置)

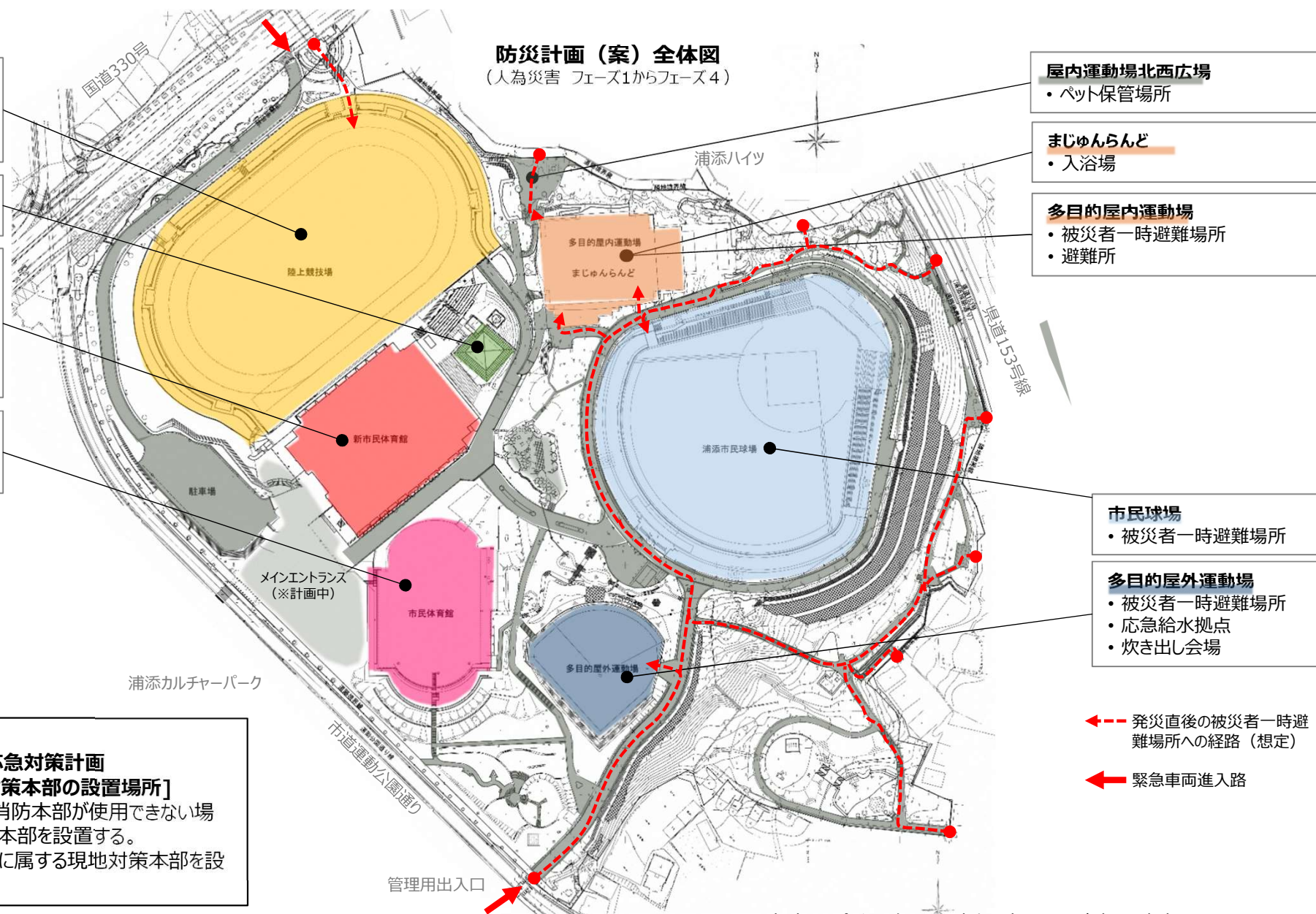
注釈

浦添市地域防災計画 災害応急対策計画

第1章 第1節 項番3「災害対策本部の設置場所」

災害により市役所庁舎及び市消防本部が使用できない場合は、市民体育館に災害対策本部を設置する。
また、状況により災害対策本部に属する現地対策本部を設置する。

防災計画（案）全体図
（人為災害 フェーズ1からフェーズ4）



※本計画は令和5年10月時点の案であり、確定した内容ではありません。
今後事業の進捗により変更が生じる場合があります。

施設の機能 (人為災害)	フェーズ1 発災直後	フェーズ2 発災後～72時間	フェーズ3 発災72時間後～数週間	フェーズ4 復旧・復興	全体 (フェーズ1～フェーズ4)
市民球場	・ 被災者一時避難場所	・ 特になし	・ 特になし	・ 特になし	・ 被災者一時避難場所
多目的屋内運動場	・ 被災者一時避難場所	・ 避難所	・ 避難所	・ 特になし	・ 被災者一時避難場所 ・ 避難所
まじゅんらんど	・ 特になし	・ 入浴場(準備)	・ 入浴場	・ 特になし	・ 入浴場
陸上競技場	・ 被災者一時避難場所	・ 自衛隊活動拠点	・ 炊き出し会場	・ 特になし	・ 被災者一時避難場所 ・ 自衛隊活動拠点 ・ 炊き出し会場
新市民体育館	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班(準備) ・ 現地対策本部	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班 ・ 現地対策本部 ・ 避難所 ・ ボランティア受入窓口	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班 ・ 現地対策本部 ・ 避難所 ・ ボランティアセンター	・ 災害対策本部 ・ 現地対策本部 ・ ボランティアセンター	・ 災害対策本部 ・ 避難所運営班 ・ 現地対策本部 ・ 避難所 ・ ボランティアセンター
既存市民体育館	・ 特になし	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置	・ 身元確認 ・ 検視 ・ 安置
多目的屋外運動場	・ 被災者一時避難場所	・ 応急給水拠点	・ 炊き出し会場	・ 特になし	・ 被災者一時避難場所 ・ 応急給水拠点 ・ 炊き出し会場
屋内運動場北西広場	・ 特になし	・ ペット保管場所	・ ペット保管場所	・ ペット保管場所	・ ペット保管場所
相撲場	・ 特になし	・ 避難所ごみ集積所	・ 避難所ごみ集積所	・ 避難所ごみ集積所	・ 避難所ごみ集積所

⑩環境に関する整備方針

■環境に関する整備方針

園内の緑地や水辺空間の維持・保全と、運動施設等への再生可能エネルギーの導入など、園内外の環境に配慮した整備を図る。生物多様性の保全等に貢献するグリーンインフラの整備に取り組む。

■主な指針・目標等

第2期浦添市環境基本計画（令和2年3月）

・望ましい環境像「豊かな自然と文化を育み、次世代へつなぐ環境共生都市・浦添」を実現するために5つの基本目標を定め、施策の方向性、取組施策を示している。

施策の方向【目標】（抜粋）

項目	単位	めざす方向	現状 2018年度	目標 2026年度	項目	単位	めざす方向	現状 2018年度	目標 2026年度
みどりの確保量	ha	増加	276ha	282ha (2030)	公園・緑地の個所数	箇所	増加	88箇所	138箇所 (2030)
自然環境調査の実施箇所 (浦添市環境マップの掲載箇所)	箇所	増加	14カ所	20カ所	公共交通機関の利用率	%	増加	3.6% (2006)	10% (2030)
市内の太陽光発電設備の総発電量	kWh	増加	1179万 kWh	-					

■整備目標

- ・身近なみどりの確保量の増加に取り組むため、公園内の既存の緑地空間を保全しつつ、自然とのふれあい、憩いの場の提供など、園内の自然環境の整備・維持管理を推進する。
- ・自然環境調査の実施箇所数の増加の対象となるよう、公園内の水辺空間等の自然環境を生息地とする動植物の多様な生態系の保全に取り組み、生物多様性の促進を図る。
- ・公共交通機関の利用率の増加に寄与し、人と環境にやさしい交通社会を推進するため、公園利用者の徒歩や自転車・公共交通機関の利用を促進し、自動車交通量の軽減や渋滞緩和に取り組む。
- ・エネルギーの有効利用・省エネを図るため、公園・運動施設における、再生可能エネルギーの導入や省エネ設備の設置に取り組む。

■イメージ案

水辺空間等の自然環境の保全



出典：国土交通省「都市の水辺整備ガイドブック」

自然環境の保全や自然環境調査



※大雪森のガーデン（北海道）

出典：国交省「都市公園の柔軟な管理運営のありかた事例」

再生可能エネルギーの導入



※堺市原池公園（太陽光発電照明）

⑩環境に関する整備方針

各運動施設等の環境的配慮については、緑の確保や生物多様性の促進、人と環境にやさしい交通社会への対応など、以下のとおり計画しており、引き続き、浦添市環境計画と連携を図りながら整備に取り組む。

公園利用者の公共交通機関の利用促進



隣接するバス停（浅野浦）

公園利用者のシェアサイクルの利用促進
徒歩による来園者数の増加



メインエントランス前シェアサイクル

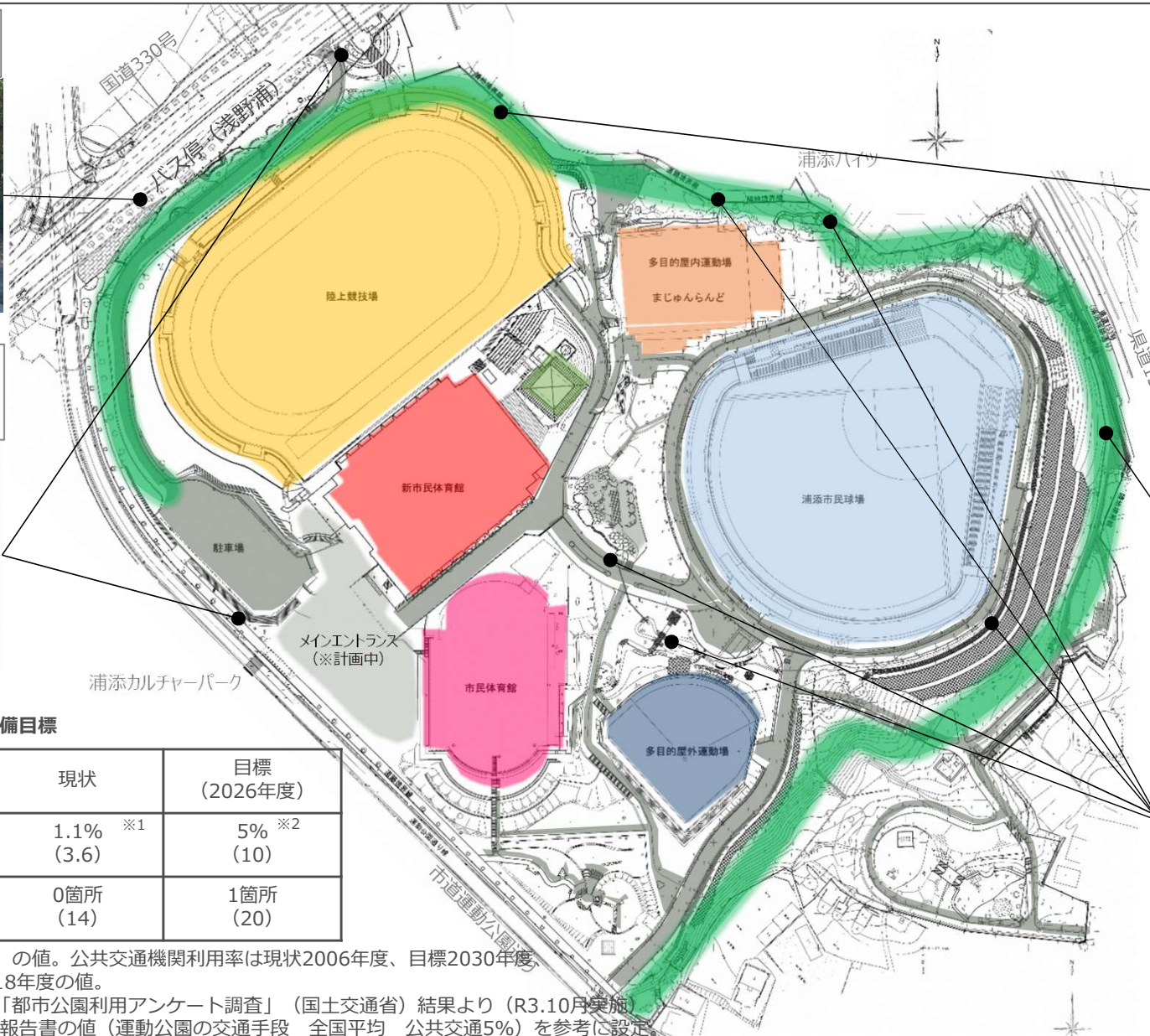
浦添運動公園における環境に関する整備目標

項目	現状	目標 (2026年度)
公共交通機関の利用率 (バス、モノレール)	1.1% ※1 (3.6)	5% ※2 (10)
自然環境調査の実施箇所 (浦添市環境マップの掲載箇所)	0箇所 (14)	1箇所 (20)

※（ ）内は浦添市環境計画（R2.3月）の値。公共交通機関利用率は現状2006年度、目標2030年度。
自然環境調査の実施箇所は現状2018年度の値。

※1 令和3年度都市公園利用実態調査「都市公園利用アンケート調査」（国土交通省）結果より（R3.10月実施）

※2 令和3年度都市公園利用実態調査報告書の値（運動公園の交通手段 全国平均 公共交通5%）を参考に設定。



陸上競技場等の再整備と合わせた緑地の適正な配置



浦添市陸上競技場

広域的なみどりの連続性を確保するための緑地空間の適切な維持保全



市民球場側緑地空間

多様な動植物の生育・生息地となる環境の整備



屋内運動場側水辺空間

⑪ 景観に関する整備方針

■ 景観に関する整備方針

丘陵地と周辺の緑地等の景観資源を活かしつつ、公園利用者が自然を感じながら、海への眺望を楽しむなど、ゆっくりと過ごすことができる良好な自然景観の維持・保全に取り組む。

■ 主な指針・目標等

浦添市景観まちづくり計画（令和4年3月）

浦添運動公園は、市街地ゾーンに位置付けられており、良好な景観形成を図るため、建築物等の整備にあたっては計画に示される景観基準に則して検討する。

景観形成基準（抜粋）

形態・意匠	・周辺の景観と調和し圧迫感を与えないような形態や色彩、意匠とする。 ・本市の特徴ある微地形を活かすよう工夫する。 ・主要な視点場から緑の両翼の稜線（スカイライン）が分断されないよう高さ、規模、形態を工夫する。
-------	--

ティーダヌファみどり計画（令和2年5月）

浦添運動公園は、市域における求心的なみどりの核として、公園緑地の整備充実を図り、本市のみどりのまちづくりとしてのティーダヌファの顔づくりとその効果の波及に積極的に取り組むことが示されている。

緑地の確保目標量（抜粋）

項目	2018年現況	割合	2030年目標	割合
都市公園	118ha	42.8%	130ha	46.1%
全体	276ha	100%	282ha	100%
割合は、緑地面積全体に対する割合				

■ 整備目標

- ・ 浦添大公園及び浦添運動公園の展望台等からの西海岸を見渡す眺望とその夜景に配慮した施設整備に取り組む。
- ・ 主要な視点場（国道330号等）からの景観（仰視等）に配慮して、緑の稜線（スカイライン）を分断せず、かつ、調和するような施設整備に取り組む。
- ・ 周辺の住環境と調和した落ち着いたあるまちなみ景観を形成する自然空間の維持保全に取り組む。
- ・ 公園内の既存緑地を維持保全しつつ、丘陵地の自然緑地と合わせ、本市のみどりの核として、将来にわたりみどりの確保量の増加に取り組む。

■ イメージ案

高台からの眺望・夜景



東側展望台からの眺望
出典：浦添市景観まちづくり計画

東側展望台からの夜景
（出典：浦添市観光計画）

住環境と調和した落ち着いたあるまちなみ景観



出典：浦添市景観まちづくり計画



出典：ティーダヌファみどり計画

丘陵の自然景観



出典：浦添市景観まちづくり計画

⑪ 景観に関する整備方針

各運動施設等の景観的配慮については、眺望や夜景等の景観への配慮、自然景観との調和、緑地の維持保全など、以下のとおり計画しており、引き続き、浦添市景観まちづくり計画と連携を図りながら整備に取り組む。

国道まちなみ景観と調和したエントランスの整備



出典：国総研「景観デザイン規範事例集（道路・橋梁・街路・公園編）」

仰視、俯瞰等の景観や自然景観に配慮した施設整備

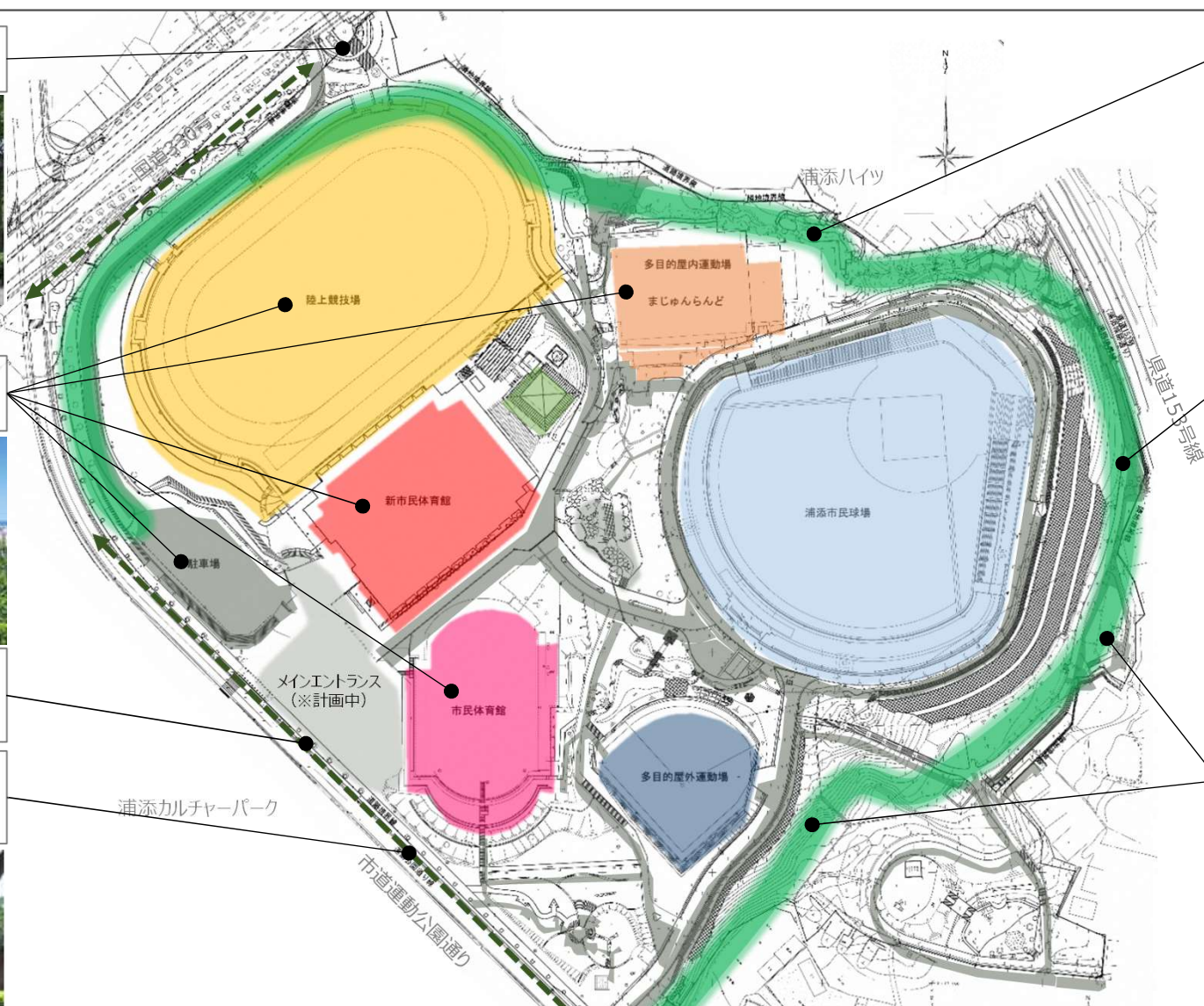


公園の顔（玄関口）に相応しい景観の形成に向けたメインエントランスの整備

公園外からの見え方に配慮し、まちなみ景観と調和した緑地の配置



出典：国交省「第1回 都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会 参考資料」



住宅地との緩衝や火災の延焼防止の役割としての緑地の維持管理



出典：国交省「居心地良く歩きたくなるグランドレベルデザイン」

広域的なみどりの骨格と自然景観を形成する緑地空間の保全



丘陵地と合わせ、緑の核となる公園内の既存緑地の維持保全



- ・ 公園内で移動しながら変化する景観を楽しむ。
- ・ 公園内の各運動施設との調和や隣接するカルチャーパーク、周辺住環境に配慮した景観の形成を目指す。

⑫新技術・DXに関する整備方針

■新技術・DXに関する整備方針

公園管理者の現場のニーズと新技術の開発者側のシーズがマッチングするものの検討や関係機関からの情報提供など、利用者サービスの向上に資する新技術の導入を図る。

■主な指針・目標等

都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言（令和4年10月）

- デジタル技術やデータを活用し公園管理者が業務効率化を図り、利用者サービスの向上等を図ることで、公園のポテンシャルを一層発揮させる公園DXの推進が今後注力すべき政策とされている。
- 以下の3つの方向性で、デジタル技術の活用やデータの利活用を進めることが必要。

浦添市官民データ活用推進計画

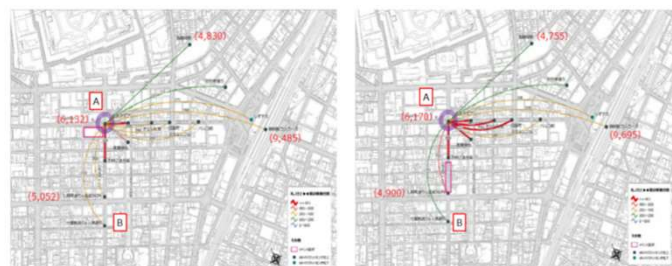
- 広域的なデータ流通の円滑な促進に寄与し、将来的な地域課題の自発的な解消や行政及び民間のサービス水準の向上に繋げ、住民の利便性の向上に寄与するとともに、データの利活用を通じた地域経済の活性化に繋げる。

■整備目標

- ビッグデータを活用した利用状況（時間帯別来園者数、滞在時間、移動経路等）等の情報を、市の担当部署や施設管理者でリアルタイムに共有すると共に、市ホームページやアプリにより施設の混雑状況や駐車場の満空情報等を施設利用者に向け発信し、利用者サービスの向上に取り組む。
- 施設の利用申請及び利用料の徴収業務、受付・問い合わせ対応等について、ICTを活用した業務の効率化に取り組む。

■イメージ案

ビッグデータ等を活用した利用者ニーズや混雑状況を把握



出典：静岡市提供資料

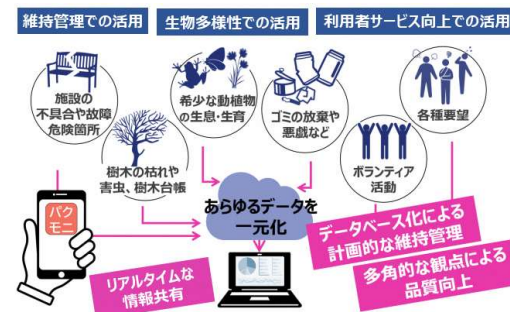
二つのイベント前後でのA地点への人の流れの比較

出典：国土交通省「地域課題解決のための人流データ利活用の手引きVer1.1」

受付・問い合わせ対応等におけるICTの活用



運動公園内の施設の利用状況や維持管理情報などのデータベース化による、より効率的で高品質な管理運営



©西武・狭山丘陵パートナーズ/西武・武蔵野パートナーズ/西武・多摩湖の公園パートナーズ

出典：国土交通省「都市公園の柔軟な管理運営のあり方に関する検討会提言 参考資料【事例編】」（R4.10.31公表（R5.3.31更新））

⑭まちづくりに関する方針

■まちづくりに関する整備方針

- ・ まちなかという立地特性を活かし、周辺の施設や住民、事業者、行政等が連携を図りながら、スポーツを通じて多様な交流・賑わいを創出させ、周辺にも波及させていくまちづくりを推進する。
- ・ バス停やモノレール駅、周辺施設等と連携した公園までのアクセス性を高めるサイン計画等の導入に取り組む。

■主な指針・目標等

第3期スポーツ基本計画（令和4年3月）

全国各地で「スポーツによる地方創生、まちづくり」の取組を創出し、スポーツを活用した地域の社会課題の解決を促進することで、スポーツが地域・社会に貢献し、競技振興への住民・国民の理解と支持をさらに広げ、競技振興と地域振興の好循環を実現することが示されている。

施策目標

スポーツ・健康まちづくりに取り組む地方公共団体の割合を2026年度末に15.6%（令和3年度）から40%

主な具体的施策

スポーツを活用した経済・社会の活性化
スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防
自然と体を動かしてしまう「楽しいまち」への転換

第五次浦添市総合計画（令和3年3月）

主な関連する施策（抜粋）

観光振興	行政、関連団体、市民、民間事業者等との協働による観光地域づくり 本市での滞在時間の拡大に資する地域資源を活用した市内周遊ツアー等の造成
交通	沖縄都市モノレールと連携させた支線公共交通（コミュニティバスやシェアサイクル等）の導入によるラストワンマイルの拡充。 公共交通や徒歩等を含めた多様な交通手段を適度に利用するモビリティ・マネジメントの普及啓発活動。市民等への沖縄都市モノレール・バス等の利用促進。
スポーツ	高いレベルのスポーツを観戦する機会やトップアスリートとの交流機会を創出。そのために、市民のスポーツに対する関心を高める環境づくり。 市民ニーズを踏まえて、だれもが利用できるユニバーサルデザインの視点に立ったスポーツ・レクリエーション施設の充実。
防災	地域防災体制や広域的な応援・支援体制の拡充。

■整備目標

- ・ 本市での滞在時間の増加に資するプロスポーツ観戦の機会やトップアスリートとの交流機会の創出によるスポーツツーリズムの更なる推進に取り組む。
- ・ モノレール駅から運動公園をつなぐサイン計画の導入や支線公共交通の拡充に取り組む。
- ・ スポーツを通じた健康増進・心身形成・病気予防を推進するため身近に誰もが利用できるユニバーサルデザインの運動施設の整備に取り組む。

■イメージ案

プロスポーツを観戦する機会やトップアスリートとの交流機会



出典：都市公園のストック効果向上に向けた手引き



訪日外国人等にもわかりやすい多言語表記の案内



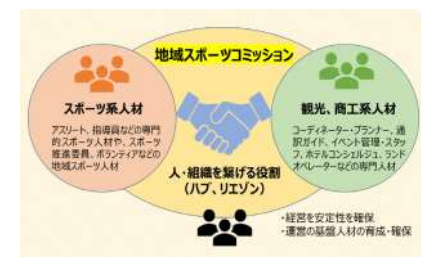
出典：都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン【改訂第2版】

運動公園をつなぎ地域の賑わいを生み出すサイン



出典：スタジアム・アリーナ改革ガイドブック＜第2版＞

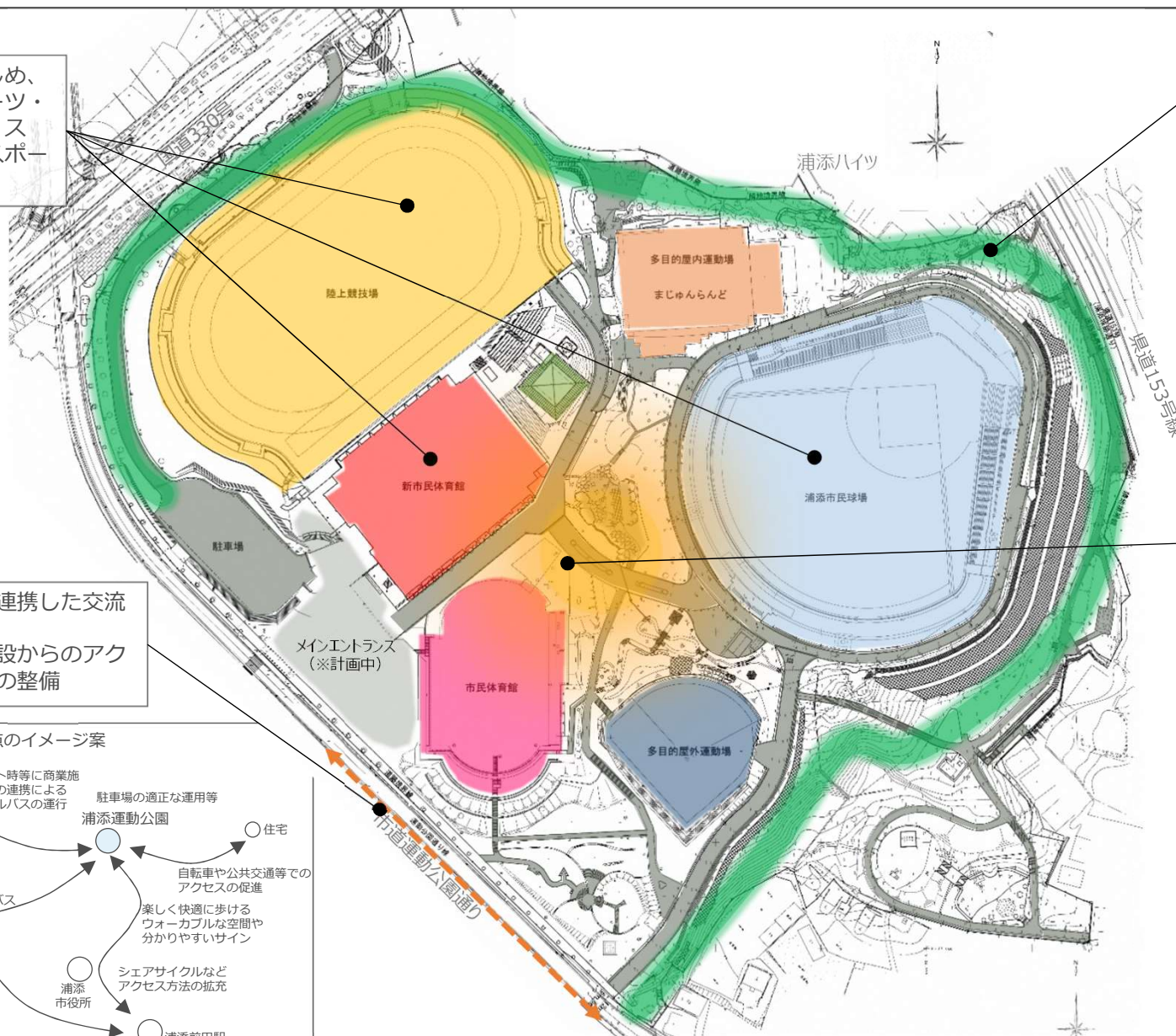
スポーツコミッションを推進する体制



⑭まちづくりに関する方針

- ・ 周辺施設や住民、事業者、行政等が連携を図りながら、スポーツを通じて多様な交流・賑わいを創出させ、周辺にも波及させていくまちづくりを推進する。

市民の健康づくりをはじめ、スポーツを通じたスポーツ・観光の交流拠点として、スポーツイベントやプロスポーツキャンプ等の実施



火災の延焼防止など災害に対する防災機能や地域の景観形成等を担うグリーンインフラとして活用



自然災害時の防災拠点

出典：都市公園のストック効果向上に向けた手引き

- ・ 都市における身近な交流空間として、市民や観光客等が交流できる地域の賑わいを創出するイベント等の実施
- ・ オープンスペースなど交流空間を社会課題解決の実践の場として活用

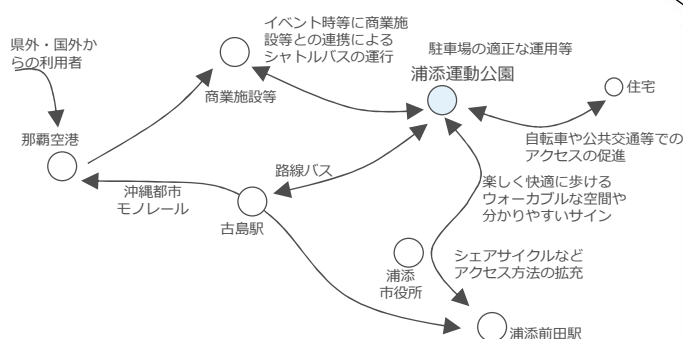


賑わいを創出する交流イベントの実施

出典：都市公園のストック効果向上に向けた手引き

- ・ 周辺施設、事業者等と連携した交流イベントの実施
- ・ モノレール駅や周辺施設からのアクセスに対するサイン等の整備

市内外からアクセスしやすい拠点のイメージ案



⑬まちづくりに関する方針

運動公園立体駐車場の適切な運用の推進

那覇空港
那覇空港HP

駐車場混雑予想

以下は那覇空港駐車場の今後3日間の混雑予想です。混雑の目安としてご利用ください。なお、状況に応じて利用率は予測と異なる場合がございます。

利用率	混雑状況
30%	空いている
50%	やや混雑
70%	混雑
90%	大混雑
100%	完全混雑

混雑になる可能性があります。なるべく公共交通機関をご利用ください。

駐車場混雑予想

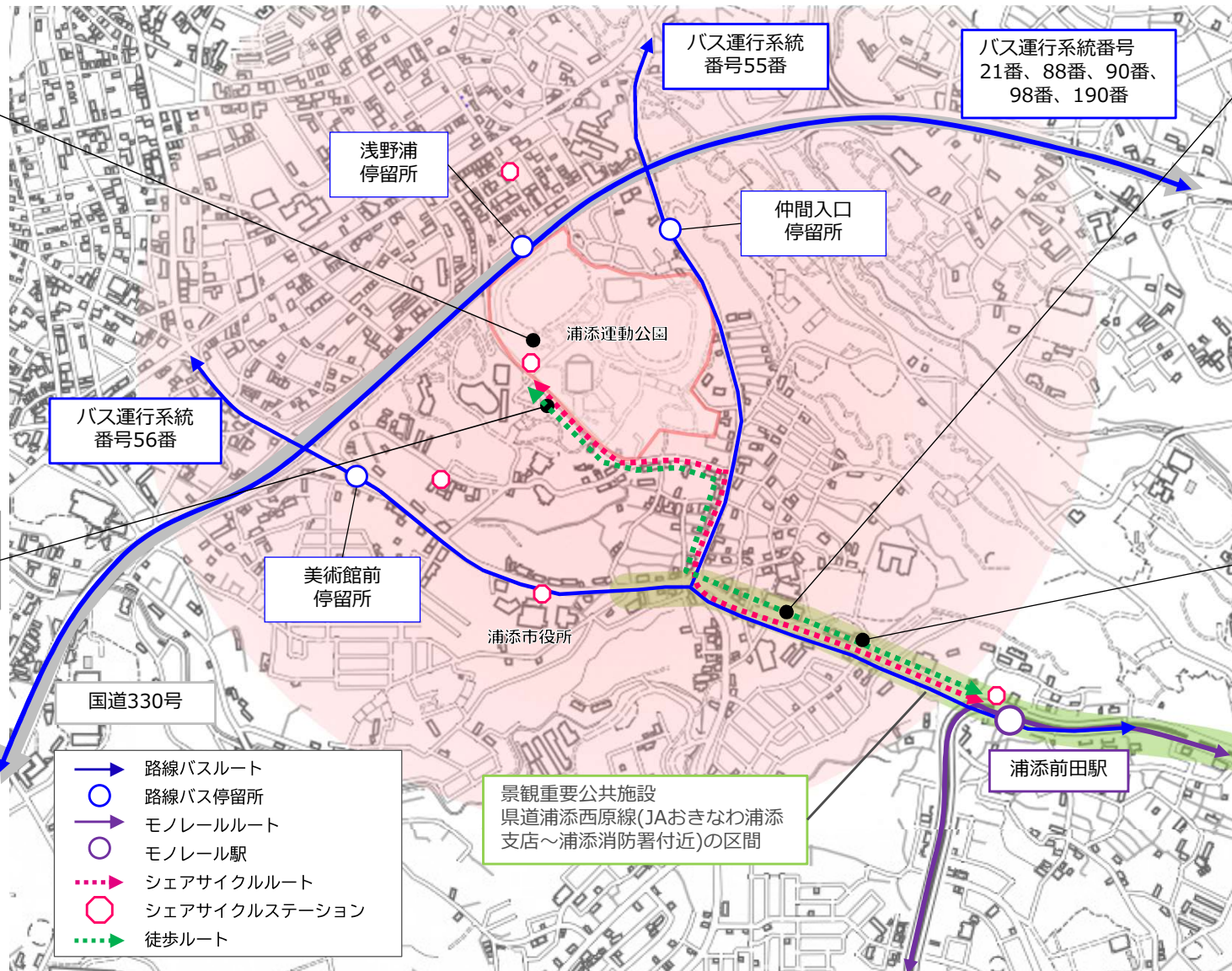
出典：那覇空港HP

徒歩や公共交通機関、自転車、シェアサイクル等によるアクセスの促進



自転車通行空間の整備

出典：浦添市自転車ネットワーク計画



景観重要公共施設である県道浦添西原線の良好な景観形成と一体となった楽しく快適に歩けるウォーカブルな空間づくりの推進



良好な沿道景観と賑わいを創出する歩行空間

出典：街路空間等の再構築・利活用のプロセス事例集～中小都市版～

モノレール駅から運動公園までのわかりやすいサイン計画の導入



公共交通への案内サイン

出典：言語バリアフリー施策取組み好事例集

⑮段階的な整備の考え方

- ・ 先行する新市民体育館の整備に伴う影響範囲の再整備に短期的に取り組めます。
- ・ その他ゾーンについては、施設の老朽化等を踏まえながら中長期的に取り組めます。

主に短期的に取り組むゾーン

- ・ するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠ（陸上競技場、新市民体育館、相撲場）
- ・ メインエントランスゾーン（立体駐車場、園路、正面入口）
- ・ エントランスゾーン（国道入口）
- ・ 交流ゾーン（売店施設、広場）
- ・ 緑地・緩衝ゾーン（緑地空間）

主に中長期的に取り組むゾーン

- ・ するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠ（市民球場）
- ・ するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡ（市民体育館）
- ・ するスポーツゾーン（まじゅんらんど、屋内運動場、屋外運動場、スケートボード広場）
- ・ 憩いゾーン（遊具広場、オープンスペース）



- 短期的に取り組む
- 中長期的に取り組む



①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-1陸上競技場【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

陸上競技場で想定される利用・使用形態

陸上競技、ジョギング、散歩、サッカー、ラグビー、グラウンドゴルフ、プロ野球球団・プロサッカーチーム等の春季キャンプ、てだこまつり等



陸上競技場の課題

- ・老朽化・陳腐化した施設で、新市民体育館整備に伴い、メイン・サブスタンドの一部解体やフィールドトラックが工事車両により乱されるため、機能更新が必要。
- ・サッカーの試合や大会を開催するにはフィールドが手狭で、かつ、プロサッカーチーム等の春季キャンプの誘致ができない状況。
- ・夜間照明の照度が不足しており、夜間の利用が困難となっている状況。
- ・1日中自由に利用できる形態のために施設管理が困難となっている。一方で、利用度は高く、利用者も使い勝手がいい形態であるため、施設管理と利用で相反する状況。
- ・倉庫や諸室は老朽化や手狭のため、一部使用されておらず、また備品も保管できない状況。
- ・各競技やてだこまつり等の興行後のフィールド内芝生の維持管理が困難な状況。
- ・サブスタンドは植栽の根が張り、座りにくく、テント設営も困難で観戦がしづらい状況。
- ・バリアフリーの整備が不十分な箇所があるなど、ユニバーサルデザインの導入が必要。
- ・再整備後の適切な維持管理・運営を行うため、施設利用料金の改定が必要。

他市町村の陸上競技場の状況

- ・プロ野球球団に加え、プロサッカーチーム等も誘致するなど、スポーツコンベンションを推進。
- ・プロスポーツの利用に合わせた芝生等の維持管理。
- ・メインスタンド一部に屋根の設置、車いす利用者の観戦スペースやエレベーター、トイレを設けるなど、ユニバーサルデザインを適用。
- ・競技場への入退場を一か所の出入口に集約し、事務室より管理。
- ・多目的な競技用の備品を適切に保管する倉庫。
- ・サブスタンドの芝生化
- ・適切な維持管理等を見据えた施設利用料金

陸上競技場の整備方針

- 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- 全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- 人と人とのつながりやリアルな交流を創出させるフィールドトラックやスタンドの機能強化と魅力向上
- 多目的なスポーツの実施が可能で、プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備
- ▲ サブスタンドの空間が有効活用できる再整備及び植栽の適切な再配置と維持管理計画
- ▲ 災害時は一時避難場所や自衛隊活動拠点として災害対策活動の拠点となる防災機能を確保
- ◆ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理
- トップアスリートのキャンプ等の魅力向上に資すると共に、周辺景観と調和を図る良好な景観の形成
- ★ 新市民体育館の整備と連携し市民等が利用しやすく、プロスポーツのキャンプ等も誘致できる施設整備に取り組む

施設別整備の方針は、●再整備の方針1、▲再整備の方針2、◆再整備の方針3、■再整備の方針4、★再整備の方針5に対応する（以下、他施設も同様）

①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-1陸上競技場【短期的な取組】

デザインイメージ案

プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備

- ・ 快適にスポーツ観戦等を楽しめるメインスタンドの整備や、プロスポーツキャンプ等が誘致可能なフィールド整備等を行います。



メインスタンド
(金武町陸上競技場)



サッカーキャンプなど多目的な利用
出典：スポーツコミッション沖縄HP

地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理

- ・ 陸上競技場と新市民体育館の一体的な利用等により多様なスポーツの実施やスポーツ観戦が楽しめる施設の運営・管理を行います。
- ・ 災害時の市民等の安全・安心確保の一助となる防災倉庫等の整備を行います。



陸上競技場と体育館の一体的な利用
(田辺スポーツパーク 陸上競技場)
出典：田辺スポーツパークパンフレット



防災倉庫
(大阪府堺市 原池公園)

誰もが利用しやすいユニバーサルデザインを導入した施設整備

- ・ 障がい者や外国人等あらゆる利用者が快適にスポーツや健康づくりに参加できるように、車いす用のスロープや観覧スペースを設けるなど、ユニバーサルデザインを導入した施設整備を行います。



車いす用スロープ
(浦添カルチャーパーク)



車いす利用者観覧スペース
出典：高齢者、障がい者等の円滑な移動等に配慮した建築設計標準

緑地の適切な再配置及び維持管理や周辺と調和した良好な景観形成

- ・ 自然を身近に感じながらスポーツや健康づくりができる緑地の再配置や維持管理を行い、併設する新市民体育館や周辺の緑地と調和した景観を形成します。



緑地の適切な配置
(豊見城市陸上競技場)



自然を感じスポーツや健康
づくりができる緑地空間
(南風原町陸上競技場)



① するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-2 新市民体育館【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

新市民体育館で想定される利用・使用形態

ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、フットサル、バドミントン、卓球、プロスポーツ等の試合・大会、eスポーツ、コンサート、MICE等



新市民体育館の課題

- ・ プロスポーツ興行やeスポーツなど「みるスポーツ」への対応
- ・ 「するスポーツ」への参画を促すためにも魅力ある施設整備
- ・ 障がい者スポーツの振興など障がい者利用の推進
- ・ 陸上競技場スタンドと新市民体育館との一体的整備による拠点機能の充実
- ・ 浦添市らしさを創出する施設整備
- ・ 地域防災計画等の位置づけを踏まえた災害対応等の充実
- ・ 軍人・軍属を含めた国際交流の推進
- ・ 地球環境への配慮の充実
- ・ コストセンターからプロフィットセンターへの転換の検討
- ・ 時間軸も意識した既存市民体育館との機能・役割分担の検討

他市町村の体育館の状況

- ・ みることを重視した観客席の整備
- ・ 大型スクリーン・LEDディスプレイ等の整備検討
- ・ 照明機材の充実検討
- ・ 飲食ニーズへの対応の検討
- ・ 空調設備の設置検討
- ・ 多様な利用を可能とするアリーナ床面の検討
- ・ スポーツをはじめ興行・イベント等の多様なニーズに対応する施設・設備の検討
- ・ 器具庫・倉庫の充実検討
- ・ 利用料についての多様な対応の検討

新市民体育館の整備方針

- 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- 全ての人が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ▲ 二つの拠点機能の相互補完による多様な利用シーンへの対応
- ▲ 競技スタンドと新市民体育館との一体化等による効果的・効率的な施設整備
- ▲ 多様な屋内スポーツ・大会ニーズやMICE、コンサート等に対応できるアリーナ・観客席の整備
- ▲ 市民をはじめ、観光客が快適かつ機能的にトップアスリートの競技等を観戦できる施設設備の整備
- ▲ 災害時は避難所となるほか、現地対策本部等の災害対策活動の本拠機能をもつ施設・設備の整備
- ◆ PPP/PFIを活用し、利用者の利便性を高めると共に、地域の賑わい創出や地域経済の活性化につながる適切な施設の運営・管理
- 多目的なスポーツの実施が可能で、プロスポーツ等のキャンプを誘致できる施設整備とスポーツ観戦等が楽しめる環境整備
- ★ 新たなスポーツ・観光の交流拠点の核となる施設・設備の整備に取り組む



①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-3相撲場【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

相撲場で想定される利用・使用形態

相撲、大会等

相撲場の課題

- ・ 自由に入出りできる形態のために施設管理が困難。
- ・ 屋外施設のため、犬・猫の糞尿等の被害への対処。
- ・ 新市民体育館等と一体的な利活用。



相撲場の整備方針

- 子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- ▲ 災害時の避難者への生活支援（ごみ集積所）として必要な機能を確保
- 新市民体育館等の周辺運動施設と調和した良好な景観形成
- ★ 他運動施設との一体的な利活用を可能にするため新市民体育館と近接して整備し、犬・猫の糞尿等の環境問題に対応した施設管理に取り組む

①するスポーツ・みるスポーツゾーンⅠの施設整備 ①-4市民球場【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標

市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、トップアスリートの競技等の観戦が可能で新たなスポーツ・観光の交流拠点に資するゾーン

市民球場で想定される利用・使用形態

野球、ソフトボール、プロスポーツ等のキャンプ等

市民球場の課題

- ・ 経年劣化等により、スタンドや諸室、トイレ、水回り設備等の老朽化・陳腐化
- ・ バリアフリーの整備が不十分な箇所があるなど、ユニバーサルデザインの導入が必要。



市民球場の整備方針

- 更新時には、子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- 全ての人々が移動しやすく、利用しやすい案内表示やICTを活用した交流イベント等の情報発信の整備
- ▲ プロ野球キャンプ時の主要な場所で、かつ、スポーツコンベンションの核となる施設のため、それに相応しい施設の維持管理・更新
- ▲ 長寿命化計画を踏まえつつ、スポーツ・観光交流拠点の形成に資するよう施設の維持管理・更新の早期化
- ▲ 市民をはじめ、観光客が快適かつ機能的にプロ野球キャンプを観戦できる施設設備の維持管理・更新
- ▲ 災害時の避難者への生活支援（避難所・仮設住宅等）として必要な機能を確保
- 周辺運動施設と自然景観と調和を図った良好な景観の形成
- ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等と照らし合わせながら施設の更新等の計画・整備に取り組む。



②するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡの整備方針 ②-1市民体育館【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標

主に市民等の競技スポーツや健康増進のためのスポーツ・運動利用に加えて、子ども等の試合や大会等の観戦ができる**生涯スポーツの推進やスポーツ交流**に資するゾーン

市民体育館で想定される利用・使用形態

ハンドボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、テニス、市民のスポーツ大会、沖展等

市民体育館の課題

- ・ 施設の老朽化等に伴う雨漏り等への対処。
- ・ 空調（冷房）設備の未設置により、館内の気温や湿度が下がりにくいため、熱中症になる危険性が極めて高いなど、屋内スポーツの競技環境が整っていない。
- ・ 市民・団体の利用率が高いことや観客席数の不足等により、プロスポーツやイベント等の興行でこれ以上の利活用を図ることが困難。
- ・ 車いすでの館内へのアクセス性や専用の観客席・トイレの確保など、バリアフリー対策が不十分。
- ・ 既存市民体育館は主に市民等の利用、一方、新市民体育館は興行の利用など、役割・機能の分担を図るものの、新市民体育館の供用時に既存市民体育館は築39年が経過するため、老朽化・陳腐化の進行や空調（冷房）設備やバリアフリーへの対応など、市民等のニーズへの対応が難しくなる可能性がある。



市民体育館の整備方針

- 更新時には、子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入
- ▲ 主に市民等の競技スポーツや健康増進の利用に加えて、子ども等の試合や大会を観戦できる施設整備の維持管理・更新
- ▲ 災害時の保健衛生対策（身元確認所等）として必要な機能を確保
- ◆ 市民や団体等の利用者が利用しやすい柔軟な施設予約システム等の導入
- 周辺運動施設や自然景観と調和を図った良好な景観の形成
- ★ 既存市民体育館と新市民体育館の役割・機能の分担を継続していくため、既存市民体育館の長寿命化計画を踏まえつつ、市民等のニーズや施設の構造・設備の老朽化等の現状の把握に努め、新市民体育館の利活用と照らし合わせながら、今後の運用や維持管理・更新を検討する。

②するスポーツ・みるスポーツゾーンⅡの整備方針 ②-1市民体育館【中長期的な取組】

デザインイメージ案

現状（既存市民体育館前オープンスペース）

- ・ 現状の既存市民体育館前のオープンスペースは、イベント等の実施に活用されており、運動公園内の賑わいや交流を生み出す空間になっている。
- ・ 新市民体育館の整備により、既存市民体育館から中央園路までのオープンスペースが減少する。



地域の賑わいや交流を生み出すオープンスペースの整備

- ・ 新市民体育館整備後において、地域の賑わいや交流を生み出すイベント等の実施や防災上の観点から、既存市民体育館の今後の施設更新の計画では、交流ゾーン等と連携したオープンスペースの確保を念頭に検討する必要がある。
- ・ また、利用者を迎え入れるメインエントランスゾーンと交流の核となる交流ゾーンの整備では、既存市民体育館の今後の施設更新等も見据えた空間整備を踏まえて計画・検討していく必要がある。



③するスポーツゾーンの整備方針 ③-1まじゅんらんど【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン	
まじゅんらんどで想定される利用・使用形態 水泳、マシンをつかったトレーニング、スタジオレッスン、カルチャースクール等	
まじゅんらんど課題 ・ 経年劣化による設備の維持管理・更新 ・ 施設までのアクセスの分かりやすい案内	
まじゅんらんど整備方針 ● 更新時には、子どもや高齢者等をはじめ、誰もが利用しやすく、車いす利用者に配慮した施設整備など、ユニバーサルデザインの導入 ▲ 市民や地域住民・団体等の健康づくりや心身機能の維持・回復、コミュニケーションの促進といった健康増進を支える施設・設備の更新 ▲ 災害時の避難者への生活支援（入浴場等）として必要な機能を確保 ◆ 利用者の利便性を高めると共に、健康増進や地域内の交流創出につながる施設の運営・管理 ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等を踏まえ施設・設備の維持管理・更新に取り組む	

③するスポーツゾーンの施設整備 ③-2多目的屋内運動場【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン	
多目的屋内運動場で想定される利用・使用形態 テニス、フットサル、ドッジボール、野球練習等、保育園や幼稚園の運動会、プロ野球キャンプ時の練習場	
多目的屋内運動場の課題 ・ 人工芝やネット等の内装材や窓等の外装材の経年劣化に対応した維持管理・更新 ・ 豪雨時には施設内の冠水が生じ、利用が困難になる。 ・ プロ野球キャンプ時に隣接する広場に仮設ブルペンを設置するために毎年度費用がかかる	
多目的屋内運動場の整備方針 ▲ 市民等のスポーツ参加や健康づくりと、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションにも寄与する施設・設備の更新 ▲ 施設周辺にプロ野球キャンプ時に機能的に球団が利用できると共に、キャンプ観戦の魅力を向上させるブルペンの整備 ▲ 災害時の生活支援物資の荷捌き及び保管場所として必要な機能を確保 ◆ 利用者の利便性を高めると共に、健康増進や地域内の交流創出につながる施設の運営・管理 ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等を踏まえスポーツコンベンションにも寄与する施設・設備の更新に取り組む	

③するスポーツゾーンの整備方針 ③-3多目的屋外運動場【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン	
多目的屋外運動場で想定される利用・使用形態 野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、プロ野球キャンプ時の練習場等	
多目的屋外運動場の課題 - 自由に出入りできる形態のために施設管理が困難。 - 雨天時に水が溜まりやすく、その後の排水に時間がかかり、施設の使用に支障が生じてる場合がある。 - 屋外施設のため、犬・猫の糞尿等の被害への対処。 - 市民球場等と一体的な利活用。	
多目的屋外運動場の整備方針 ▲ 市民等のスポーツ参加や健康づくりなど、生涯スポーツを支える施設の維持管理と、プロスポーツキャンプ等のスポーツコンベンションの推進にも寄与する施設・設備の更新 ▲ 災害時の避難者への生活支援（給水や炊き出し等）として必要な機能を確保 ★ 利用者のニーズや長寿命化計画等を踏まえスポーツコンベンションにも寄与する施設・設備の更新に取り組む	

③するスポーツゾーンの施設整備 ③-4スケートボード広場【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標 主に市民等の競技スポーツや健康増進、心身機能の維持・回復、交流等のためのスポーツ・運動利用を担うゾーン ※春季キャンプ時にはゾーンⅠを補完するゾーン	
スケートボード広場で想定される利用・使用形態 スケートボード、ローラースケート等	
スケートボード広場の課題 - 新市民体育館整備に伴い受電所が設置されるため、敷地が手狭となる。 - 自由に出入りできる形態のために施設管理が困難なことや、夜間の無断使用など、周囲に人がいない時間帯での事故・ケガへの対応が困難である。	
スケートボード広場の整備方針 ●★利用者のニーズや利用状況を踏まえ、スケートボード広場として機能を維持できる敷地の確保・整備 ■ 市民等の快適な利用と、スポーツコンベンションの推進にも寄与する施設・設備の更新	

④交流ゾーンの整備方針 ④-1売店施設【短期的な取組】

ゾーンの整備目標 オープンスペースを利用したイベントや魅力ある便益施設などにより賑わいを生み出し、運動公園内の交流の核となるゾーン	
売店施設で想定される利用・使用形態 休憩、飲食（休日、イベント時）	
売店施設の課題 ・ 利用者の休憩や飲食利用などのニーズに対応した施設の運営 ・ トイレなどの経年劣化による設備等の維持管理・更新	
売店施設の整備方針 ▲◆ Park-PFIの活用も含め利用者の休憩や飲食利用のニーズに対応した、魅力ある便益施設の運営や環境の整備 ▲★ 利用者のニーズに対応した施設運営や、老朽化・陳腐化を踏まえた施設・設備の維持管理・更新に取り組む ■ 周辺の運動施設、自然、オープンスペースが調和した景観の形成 ■ 広場と一体でスポーツイベントなどと連携し賑わいを生み出す魅力ある公園づくりの取組	

④交流ゾーンの整備方針 ④-2広場【短期的な取組】

ゾーンの整備目標 オープンスペースを利用したイベントや魅力ある便益施設などにより賑わいを生み出し、運動公園内の交流の核となるゾーン	
広場で想定される利用・使用形態 イベント、自然とのふれあい、災害時の避難等	
広場の課題 ・ 新市民体育館の整備に伴うスペースの維持確保 ・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと一体で賑わいを生み出す広場の効果的な活用	
広場の整備方針 ● 自然を感じる水辺やみどりを活かし、賑わい・交流の創出につながるイベントの実施を可能にするオープンスペースの整備 ● 各施設に誘導する案内表示や、ICTを活用した施設情報発信の整備 ▲ 災害時の仮設トレイの設置や柔軟に対応できるオープンスペースとして機能を確保 ■ 周辺の運動施設、自然、オープンスペースが調和した景観の形成 ■ メインエントランスや他ゾーンと一体的にイベント等を実施するなど、運動公園の交流・憩いの場の核となる賑わい・魅力ある空間づくり ■ 売店施設と広場を一体利用した交流イベントなど魅力ある公園の運営 ★ 新市民体育館の整備と連携して交流の核となるオープンスペースを確保し、地域に波及する賑わいを生み出す空間整備に取り組む	

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

④交流ゾーンの整備方針 ④-1売店施設、④-2広場【短期的な取組】

デザインイメージ案

周辺の各ゾーンと一体となったスポーツイベントや地域イベントの実施

- ・ みるスポーツゾーンでのプロスポーツの試合やキャンプと一体となったスポーツイベントの実施など賑わいを創出する魅力ある公園の運営を行います。



プロスポーツキャンプと一体となったイベントの実施



賑わいを創出する公園運営

利用者ニーズに対応した魅力ある便益施設の運営や環境の整備

- ・ 公園内でゆっくり過ごすことができる休憩スペースや飲食利用のニーズに対応した便益施設の運営を行います。



公園内のカフェ
(大阪府堺市 大仙公園)



公園内の屋外レストランエリア
(大阪府堺市 大仙公園)

イベントや災害時の利用にも対応できるオープンスペースの整備

- ・ 地域イベントの実施や多様な公園利用を可能にするオープンスペースの整備を行います。
- ・ 災害時の利用にも対応できる防災機能を確保します。



オープンスペースでの
地域イベントの実施



災害時に利用できるオープン
スペースの整備（仮設トイレ）

各施設に誘導する案内表示や、ICTを活用した施設情報発信の整備

- ・ 利用者を各施設に分かりやすく誘導する案内表示や各施設のイベント情報などを発信できる情報発信設備を整備します。



バリアフリー情報を記載した案内表示

出典：国土交通省「都市公園の移動円滑化整備ガイドライン」



多言語表記による各施設への案内表示

⑤メインエントランスゾーンの整備方針 ⑤-1立体駐車場【短期的な取組】

ゾーンの整備目標 市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す公園の顔となるゾーン	
立体駐車場で想定される利用・使用形態 利用者の駐車、各施設へのアクセス	
立体駐車場の課題 ・ イベント時の駐車スペースの不足や大型バスなどの駐車スペースの確保 ・ 障がい者用の駐車スペースの確保 ・ 目的外利用による駐車への対応 ・ 新体育館整備に伴う連結部分の取り壊しによる園路までのアクセス	
立体駐車場の整備方針 ● はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる案内表示等の整備 ● 自家用車やレンタカー、観光バスなどのアクセスに対応した駐車スペースの適切な運用と確保 ● 車いす利用者等の障がい者用車両のスペース確保や、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備 ● 有料化を含めた今後の適切な運用に対応した施設・設備の更新 ■ 周辺の自然環境や沿道のまちなみと調和した景観の形成 ★ 立体駐車場は正面入口や新市民体育館、園路の整備と連携して、利用者が円滑に移動できるよう空間整備に取り組む	

⑤メインエントランスゾーンの整備方針 ⑤-2園路【短期的な取組】 ※ 園路は⑧緑地・緩衝ゾーンにも含まれる

ゾーンの整備目標 市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す公園の顔となるゾーン	
園路で想定される利用・使用形態 各運動施設へのアクセス、散歩やジョギング、関係者車両等の移動	
園路の課題 ・ 新体育館整備に伴う正面入口から中央噴水広場までの軸線の喪失 ・ 地形による高低差や段差の解消、木陰の確保やベンチの配置、バリアフリーへの配慮 ・ 各施設までのアクセスが分かりやすい園路構成や案内表示	
園路の整備方針 ● 観光客等のはじめて訪れる利用者であっても、目的施設まで分かりやすく誘導する園路構成と案内表示や園内放送等の整備 ● 高低差の中でも高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備 ● 散歩やジョギングをはじめ利用者が、車両が通行する区間においても安全・安心に歩行できる空間の確保 ▲ 災害時に避難者が一時避難場所まで安全・安心に避難できる園路空間の整備 ■ 散歩やジョギングをはじめ利用者が、心地よく感じる周囲の各運動施設や緑地などの自然環境と調和した景観の形成 ★ 園路は正面入口や新市民体育館、立体駐車場、交流ゾーンの整備と連携するとともに、既存市民体育館の今後の施設更新（規模縮小等を含む）も見据えて、賑わいや交流を生み出すよう空間整備に取り組む	

⑤メインエントランスゾーンの整備方針 ⑤-3正面入口【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

市内外からの利用者を迎え入れるとともに、オープンスペースを利用したイベントや交流ゾーンとの連携により賑わいや交流を生み出す**公園の顔**となるゾーン

正面入口で想定される利用・使用形態

利用者の入退園、待合せ

正面入口の課題

- ・ 園路の付け替えによる正面入口の位置
- ・ 新体育館整備に伴う正面入口から中央噴水広場までの軸線の喪失



正面入口の整備方針

- はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる入口の配置検討及び案内表示等の整備
- 市内外から公共交通等の多様な交通手段で訪れる利用者のアクセス性の確保
- 高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- ▲ 新市民体育館や交流ゾーン等と一体で地域の賑わいや交流を生み出すイベントの実施や災害時の利用にも柔軟に対応できる空間の整備
- 市内外からの利用者を迎え入れる顔になる空間であり、まちなみと調和した景観の形成
- ★ 正面入口は新市民体育館や園路、交流ゾーン等の整備と連携するとともに、既存市民体育館の今後の施設更新（規模縮小等を含む）も見据えて、公園の顔となるエントランス空間の整備

⑥エントランスゾーンの整備方針 ⑥-1国道入口【短期的な取組】

ゾーンの整備目標

サブエントランスとして、徒歩やバス等の公共交通による利用者を緑陰等で迎え入れ、交流や憩いの場を生み出すとともに、緊急車両の進入を確保するなど、**安全・安心や防災の機能**をもつゾーン

国道入口で想定される利用・使用形態

利用者の入退園、国道330号からの車両の進入

国道入口の課題

- ・ 車両と歩行者の安全性の確保



国道入口の整備方針

- はじめて訪れる利用者にも分かりやすく、各施設にアクセスできる案内表示等の整備
- 市内外から公共交通等の多様な交通手段で訪れる利用者のアクセス性の確保
- 高齢者や車いす利用者、ベビーカー利用者をはじめ、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる整備
- 車両の出入口や車路の整備では車両と利用者が交差しないよう安心・安全に散歩やジョギング、待ち合わせ等ができる空間の整備
- ▲ 災害時の大型緊急車両の進入や被災者が一時避難場所まで安全に避難できる空間の整備
- 国道沿道のまちなみや陸上競技場の再整備と調和した景観の形成
- ★ 陸上競技場整備と連携して、緑陰等で迎え入れ、交流や憩いの場を生み出すエントランス空間の整備

浦添運動公園再整備基本構想・基本計画

6 ゾーニング・動線計画【6-5 施設別整備の方針】

⑤メインエントランスゾーンの整備方針 ⑤立体駐車場、園路、正面入口【短期的な取組】

デザインイメージ案

利用者を迎え入れる顔になる空間、まちなみと調和した景観

- ・ はじめて訪れる利用者にも分かりやすい顔になる空間の整備を行います。
- ・ 利用者を各施設に分かりやすく誘導する案内表示等の整備を行います。



利用者を迎え入れる顔になる
エントランス空間の整備
出典：東京都「有明アーバンスポーツ
パーク整備運営事業提案概要」



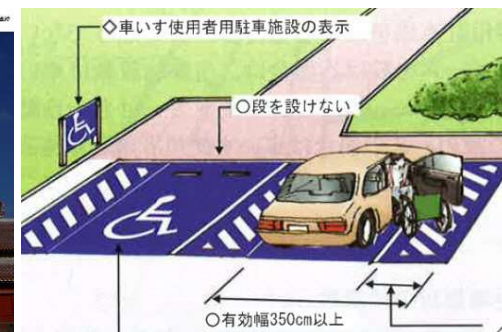
各施設にアクセスできる
案内表示等の整備
(大阪府堺市 原池公園)

駐車スペースの適切な運用と増設

- ・ 有料化を含めた今後の適切な運用に対応した施設・設備の更新を行います。
- ・ 観光バスなどのアクセスへの対応や障がい者用車両スペース等を確保します。



バス駐車場の予約制導入
出典：沖縄県営首里城公園駐車場



車いす利用者等の障がい者用
車両のスペース確保

出典：日本公園緑地協会「ユニバーサルデザインに
よるみんなのための公園づくり」

誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによる園路等の整備

- ・ 車両が通行する区間においても、利用者が安全・安心に歩行やジョギング等できる園路空間の整備を行います。
- ・ 利用者を各施設まで分かりやすく誘導する園路構成にします。



目的施設まで分かりやすく誘導する園
路構成と案内表示

出典：国土交通省「都市公園の移動円滑化整備
ガイドライン」



安全・安心に歩行できる
園路空間の整備
(大阪府堺市 原池公園)

多様な交通手段によるアクセス性の確保

- ・ 運動公園まで多様な交通手段で訪れることができるアクセス性の確保を図ります。



電動アシスト付きの
スポーツバイク等の設置

出典：国交省「シェアサイクル事業の導入・運営
のためのガイドライン（仮称）（案）」



電動キックボード

⑦憩いゾーンの整備方針 ⑦-1遊具広場【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標 高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら 休息・交流等 ができるゾーン	
遊具広場で想定される利用・使用形態 子どもの遊び場、休憩、交流、散歩等	
遊具広場の課題 ・ 平時とイベント時ともに、低未利用の空間 ・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと連携して賑わいを生み出す広場の効果的な活用	
遊具広場の整備方針 ● 子どもの遊びや自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持管理 ● 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進 ● 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすいユニバーサルデザインや案内表示等の整備 ▲◆ 海が見える眺望の良さや低未利用地の空間を活かしPark-PFIを活用した利用者の利便性を高める魅力ある便益施設の導入 ■ 周辺の住宅街等のまちなみと調和した自然豊かな景観形成 ■ 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり ★ 利用者のニーズ等を踏まえながら低未利用地の有効利用を検討し、遊具・便益施設等の導入等に取り組む	

⑦憩いゾーンの整備方針 ⑦-2オープンスペース、関係者入口【中長期的な取組】

ゾーンの整備目標 高低差のある特徴的な地形や自然を感じながら 休息・交流等 ができるゾーン	
オープンスペースで想定される利用・使用形態 休憩、交流、散歩、関係者車両の進入等	
オープンスペースの課題 ・ 各運動施設でのイベントや各ゾーンと連携して賑わいを生み出す広場の効果的な活用	
オープンスペースの整備方針 ● 子どもの遊びや自然を感じながら休憩や交流等ができる緑地の適切な配置及び維持管理 ● 地域のコミュニティの交流や賑わい創出につながるオープンスペースを活用した交流促進 ● 高低差があっても移動しやすく、園内の各施設にアクセスしやすいユニバーサルデザインや案内表示等の整備 ▲◆ 沿道からのアクセス性を活かしPark-PFIを活用した利用者の利便性を高める魅力ある便益施設の導入 ▲ 災害時の大型緊急車両の進入や避難者が一時避難場所まで安全・安心に避難できる園路空間の整備 ■ 沿道のまちなみと緑地空間の調和した自然豊かな景観形成 ■ 身近な魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による公園づくり ■ 沿道にある特性を活かし周辺に波及する市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創によるオープンスペースを活用したまちづくり ★ 各運動施設のイベント等と連携して賑わいや交流を生み出すオープンスペースの有効利用を検討し、便益施設等の導入等に取り組む	

⑧緑地・緩衝ゾーンの整備方針 ⑧-1緑地空間【短期・中長期的な取組】

ゾーンの整備目標 地域の貴重な緑地空間であるとともに、自然を身近に感じながら スポーツ、健康づくり交流 に資するとともに、周辺の住宅街や道路との 緩衝帯の役割 を担うゾーン	
緑地空間で想定される利用・使用形態 自然との触れ合い、住宅地との緩衝帯、景観形成	
緑地空間の課題 ・ グリーンインフラとしての緑地の保全・利活用 ・ 運動施設や園内の利用及び管理への支障	
緑地空間の整備方針 ● 自然を感じながら散歩やジョギングなどの健康づくりや、休憩、交流等ができる緑地空間の保全 ● 運動施設や園内の利用及び管理への支障のない樹木の適正な配置及び維持管理 ● 防災機能を担うグリーンインフラとしての緑地の保全・利活用 ◆ 周辺の住宅街や道路との緩衝帯の役割を担う緑地の適切な維持管理 ■ 市の緑の拠点として緑地空間の保全と地域の緑の骨格を形成する丘陵の自然景観の形成 ■ 自然豊かで魅力ある公園を持続するための市民・地域住民・事業者・行政の協働・共創による緑地の維持管理 ★ 新市民体育館や陸上競技場等の整備と連携して緑地の適正な配置や保全に取り組み、市の緑の拠点として中長期的な維持管理に取り組む	

デザインイメージ案

自然を感じながら散歩やジョギングできる緑地空間の保全や運動施設、園内の利用及び管理に支障のない樹木の適正な配置及び維持管理

- 自然を感じながら散歩やジョギングできる園路等の緑地空間を保全します。
- 園内の利用及び管理に支障のない樹木の適正な配置及び維持管理を行います。



自然を感じながら散歩やジョギングできる園路の緑地空間



移動等の妨げにならない樹木の適正な配置

出典：日本公園緑地協会「ユニバーサルデザインによるみんなのための公園づくり」

多様な役割を担うグリーンインフラであるとともに市の緑の拠点、丘陵の自然景観を形成する緑地空間として保全・利活用する

- 緩衝帯の役割や防災機能など多様な役割機能を担う緑地の保全・利活用をします。
- 市の緑の拠点並びに丘陵の自然景観として緑地空間を保全します。



緩衝帯としての役割



丘陵の自然景観の形成